

(2) 掘立柱建物跡

今回、C区で報告対象となるのは、第1号掘立柱建物跡から第4号掘立柱建物跡と第12号掘立柱建物跡の5棟の報告である。

第1号掘立柱建物跡（第128・129図）

M-13グリッドに位置する。第117・118・127・128号住居跡を切っている。規模は桁行4間（8.64m）、梁行2間（5.86m）の南北棟の側柱建物で、主軸はN-14°-Wである。

柱間間隔は不揃いで、梁行2.8~2.9m前後、桁行2.0~2.2m前後と、梁行間隔が桁行間隔より広くなっている。

柱穴は概ね円形であるが、方形・楕円形のものもある。径68~110cm、深さ34~80cmを測る。柱痕はP2~P5・P7~P9・P11・P12で確認できた。

遺物は、土錐がP2・P3・P5・P12から出土した。

第2号掘立柱建物跡（第130・131図）

L・M-13・14グリッドに位置する。第116・117・118・135号住居跡を切っている。規模は桁行3間（6.86m）、梁行2間（5.40m）の南北棟の側柱建物で、主軸はN-15°-Wである。

柱間間隔は不揃いで、梁行2.5~2.8cm、桁行2.0~2.2m前後で、第1号掘立柱建物跡と同様に梁行き間隔のほうが広くなっている。

柱穴は円形の他に、方形・楕円形と様々で、円形の柱穴は、径97~120cm、深さ54cm程である。柱痕は、P4・P6~P9で確認できた。

遺物は、土師器壺、須恵器壺・蓋、土錐が、P1~P7で出土した。

第3号掘立柱建物跡（第132図）

L・M-15グリッドに位置する。第119・120・121号住居跡を切っている。規模は桁行3間（6.15m）、梁行2間（4.32m）の南北棟の総柱建物で、主軸はN-9°-Wである。

柱間間隔はある程度揃っているが、梁行2.0mと2.15m、桁行2.0mと2.25m程になるが、梁行・桁行ともに若干ずれる柱穴がある。

柱穴は円形もしくは楕円形で、方形のものもある。径63~100cm、深さ30~60cm程を測る。柱痕は、P1~P3・P6・P11で確認できた。

遺物は小型壺、土錐がP4~P6・P12から出土した。

第4号掘立柱建物跡（第133図）

L・M-16グリッドに位置する。第167・168・175号住居跡を切っている。規模は桁行4間（6.94m）、梁行2間（4.64m）の南北棟の側柱建物で、主軸はN-7°-Wである。

柱間間隔は、梁行は柱穴が揃わず2.2~2.4mでP2・P7がやや外側にずれている。桁行2.2mでP3・P4間、P5・P6間のみ2.5mとなる。

柱穴はほぼ円形で、径53~74cm、深さ30~56cmである。柱痕は、P1・P2・P4~P10で確認できた。

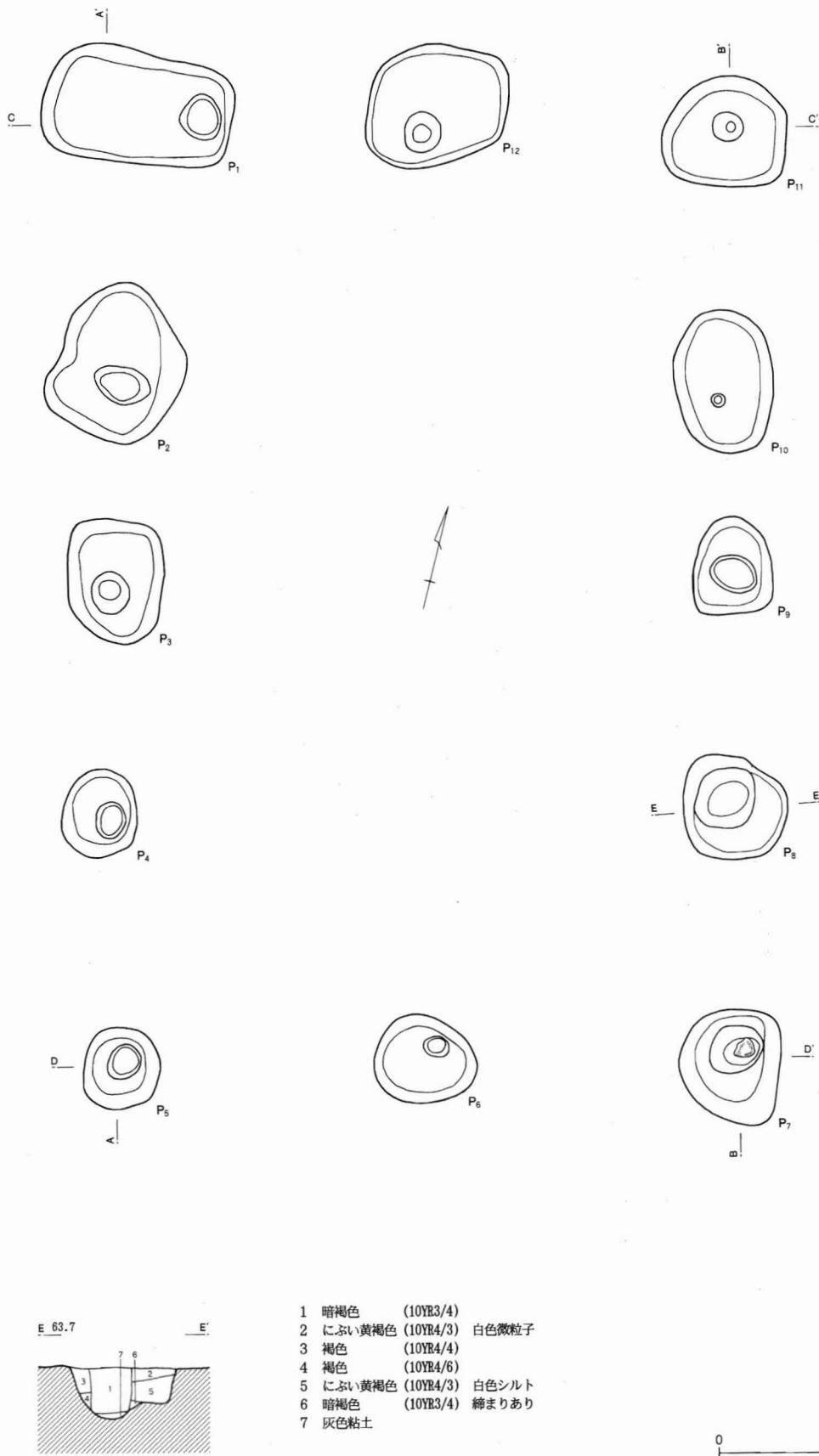
遺物は、検出されなかった。

第12号掘立柱建物跡（第134図）

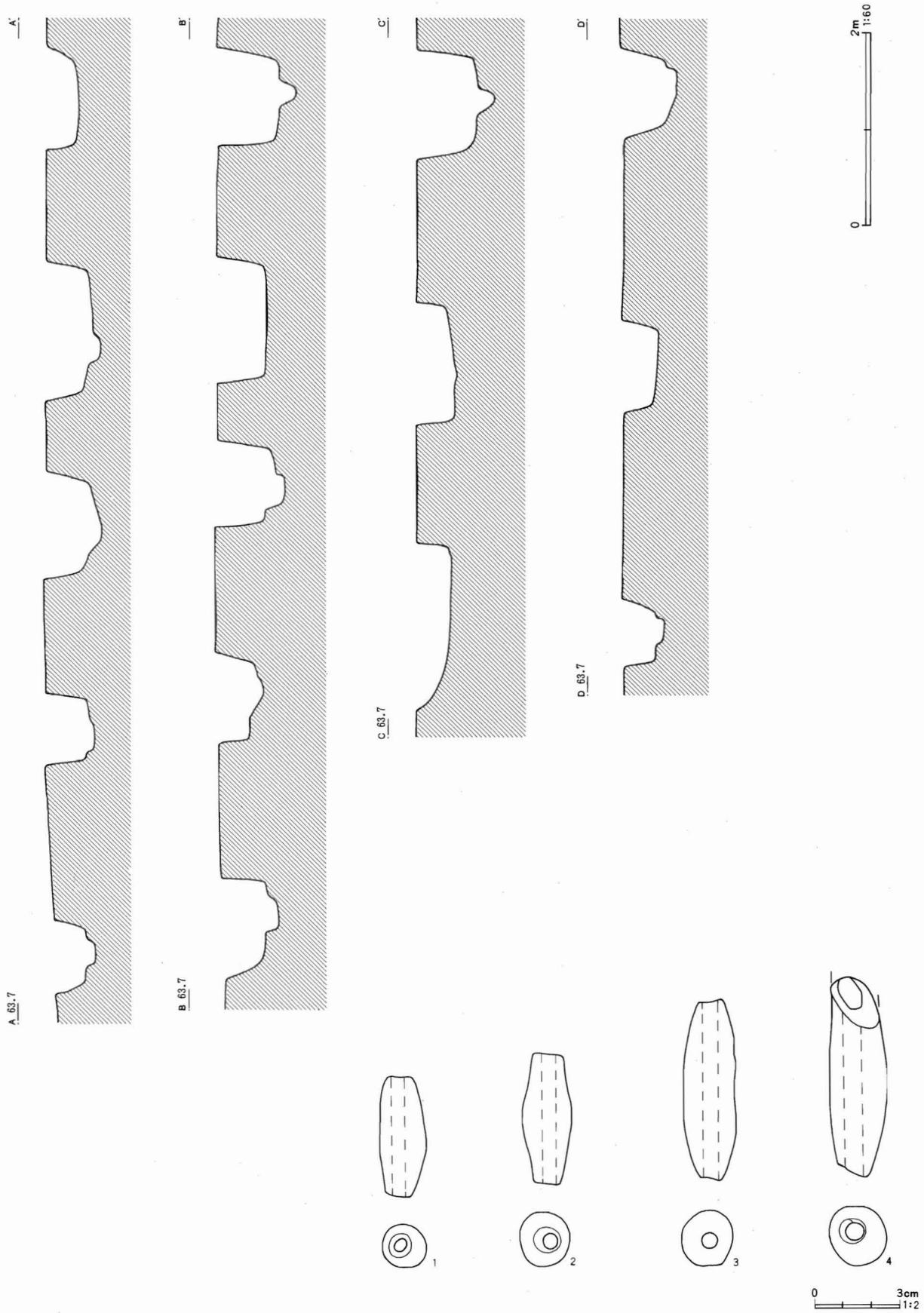
J-19グリッドに位置する。第221号土坑に切れ、392号住居跡を切っている。規模は、桁行2間（4.13m）、梁行2間（3.44m）で、北側梁行の中央

第1号掘立柱建物跡出土土錐観察表（第129図）

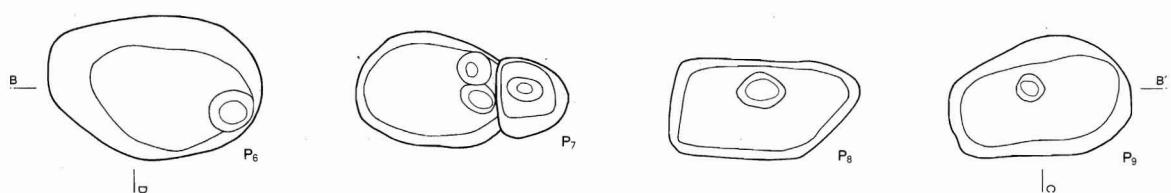
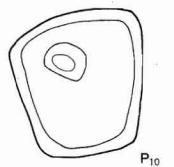
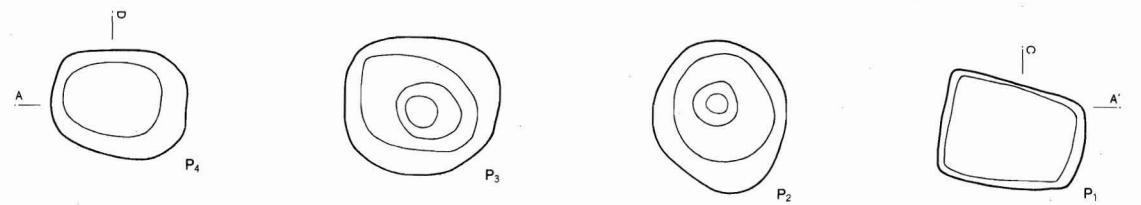
番号	長さ	径	孔径	重さ	分類	色調	残存	備考
1	4.21	1.64	0.48	(10.75)	Ba IV	橙	100	P 5
2	4.68	1.85	0.46	(12.66)	Bb V	橙	90	P 3
3	6.37	2.00	0.50	(23.79)	Ba IV	明赤褐	95	P 12
4	(7.06)	2.09	0.57	(27.47)	Ba III	浅黄橙	80	P 2
5	(3.72)	1.57	0.51	(7.57)	Ba	黒褐		P 2
6	(3.24)	(1.87)	(0.56)	(5.70)	Bb	にぶい黄橙		



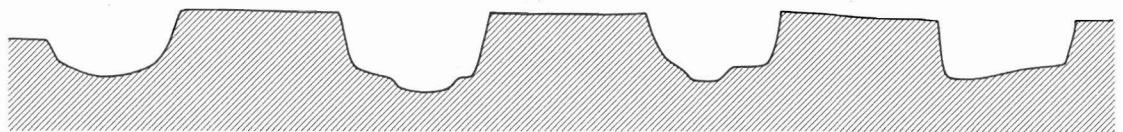
第128図 第1号掘立柱建物跡



第129図 第1号掘立柱建物跡・出土遺物



A 63.7



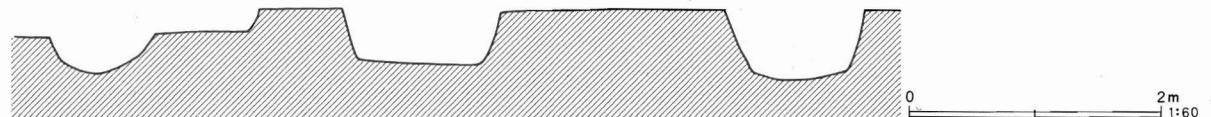
B 63.7



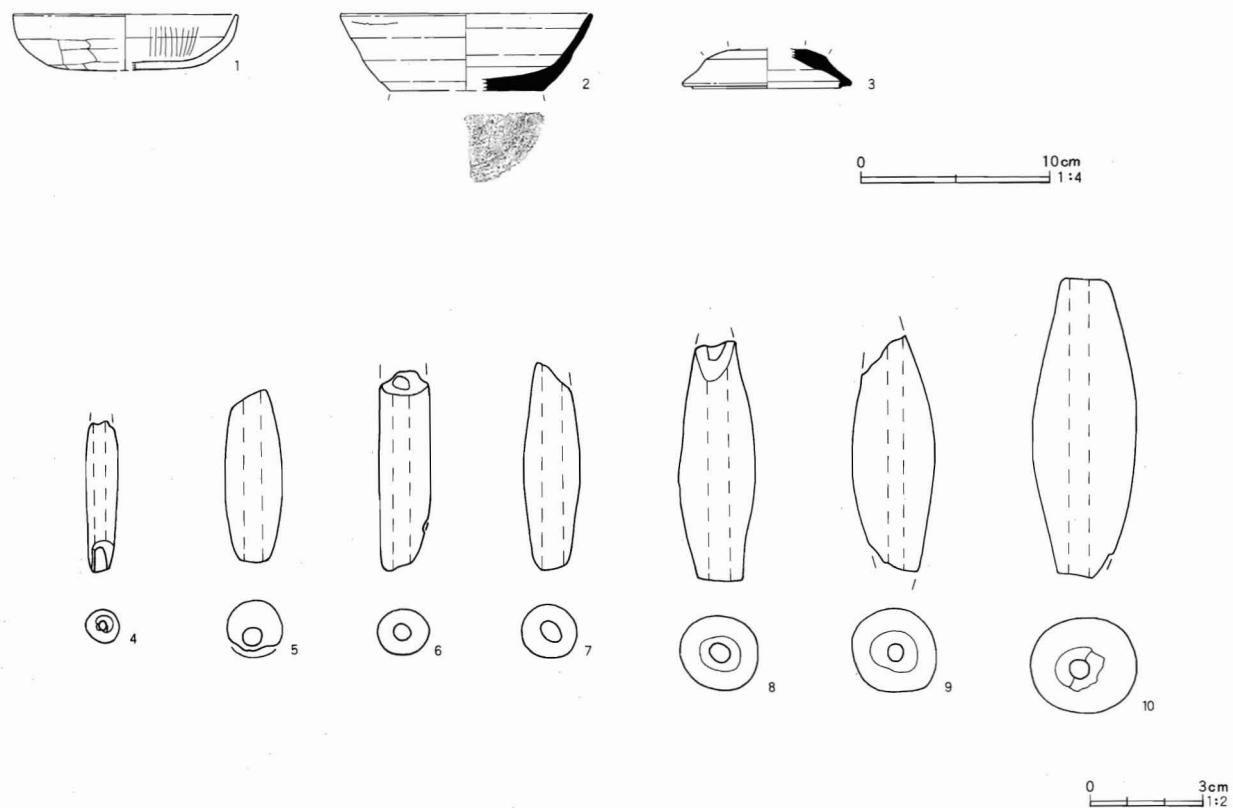
C 63.7



D 63.7



第130図 第2号掘立柱建物跡



第131図 第2号掘立柱建物跡出土遺物

第2号掘立柱建物跡出土遺物観察表 (第131図)

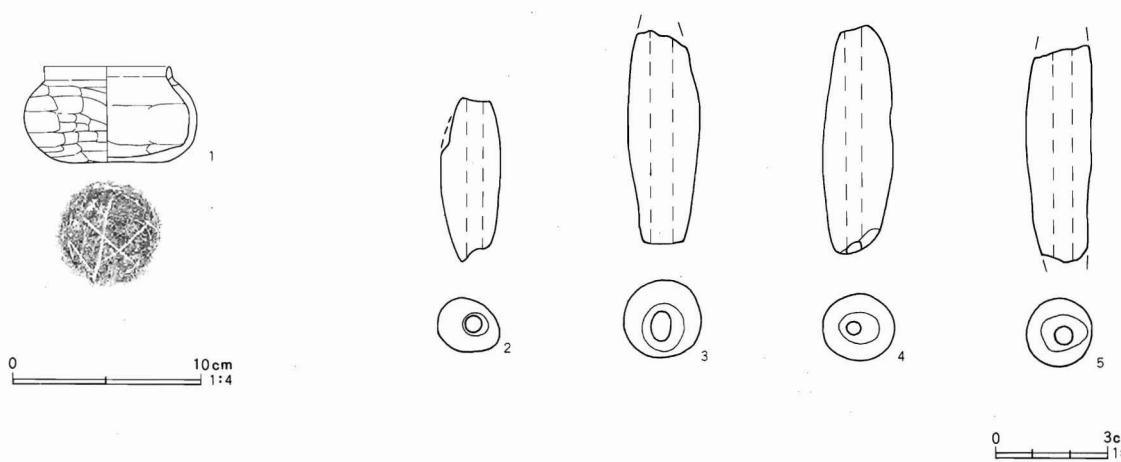
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	壺	(11.8)	2.9	(8.2)	B E	普通	橙	20	P 1	口縁部外面横ナデ 外面・底部手持ちヘラ削り 暗文土器
2	壺	(13.1)	4.0	(8.0)	B J L	良好	灰	20	P 7	底部右回転ヘラ削り
3	蓋	8.8			B	良好	灰	20	P 6	肩部右回転ヘラ削り

第2号掘立柱建物跡出土土錐観察表 (第131図)

番号	長さ	径	孔径	重さ	分類	色調	残存	備考
4	(3.96)	0.86	0.25	(2.50)	Aa V	明赤褐	80	P 3
5	4.55	1.54	0.52	(9.75)	Ba V	明赤褐	80	P 5
6	(5.30)	1.39	0.38	(8.72)	Aa	橙		P 4
7	5.52	1.52	0.44	(9.69)	Ba V	黒褐	90	P 4
8	6.39	2.08	0.44	(22.93)	Bb IV	にぶい褐	90	P 6
9	(6.25)	2.34	0.42	(27.55)	B	にぶい黄橙	80	P 2
10	7.87	2.92	0.56	(52.97)	Bb II	にぶい橙	95	P 6
11	(3.90)	2.05	0.47	(13.26)	Bb	赤褐		P 3
12	(5.48)	(2.00)	0.34	(14.05)	Ba	明赤褐		P 9
13	(5.43)	2.06	0.52	(16.75)	Ba	にぶい黄橙		P 1
14	6.17	1.87	0.60	(11.23)	Ba IV	にぶい褐	60	P 8

第3号掘立柱建物跡出土遺物観察表 (第132図)

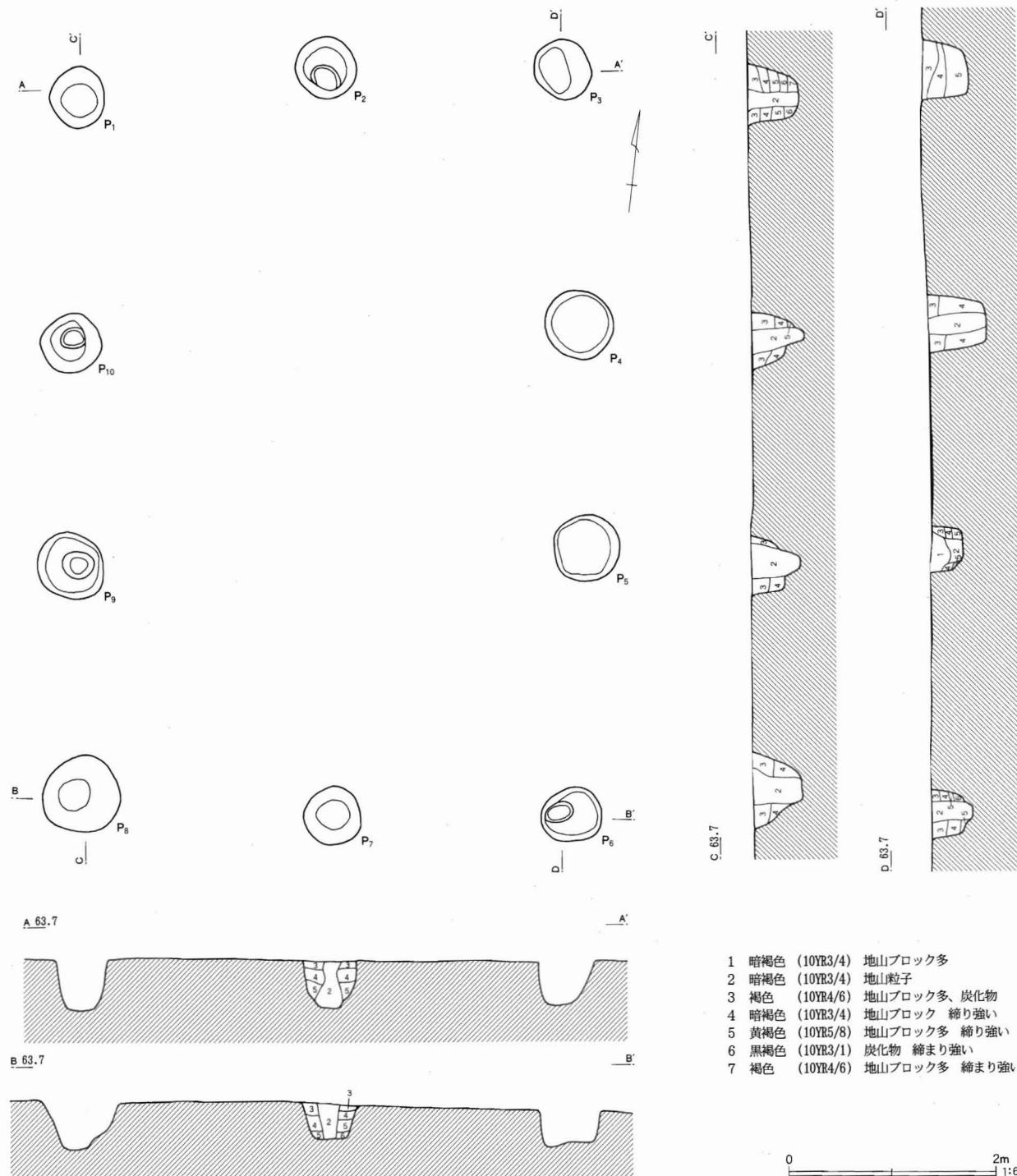
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	小型壺	6.7	5.1	5.0	J	普通	橙	95	P 5	口縁部一対円孔 体部外面←ヘラ削り 内面横ナデ 底部ヘラ削り及び木葉痕



第132図 第3号掘立柱建物跡・出土遺物

第3号掘立柱建物跡出土土錐観察表 (第132図)

番号	長さ	径	孔径	重さ	分類	色調	残存	備考
2	4.27	1.61	0.40	(7.39)	Ba VI	明赤褐	80	P 4
3	(5.70)	2.06	0.61	(21.04)	Bb IV	橙	90	P 12
4	5.95	1.89	0.38	(19.19)	Ba IV	にぶい黄橙	90	P 4
5	(5.65)	1.80	0.50	(17.90)	B	暗赤褐		



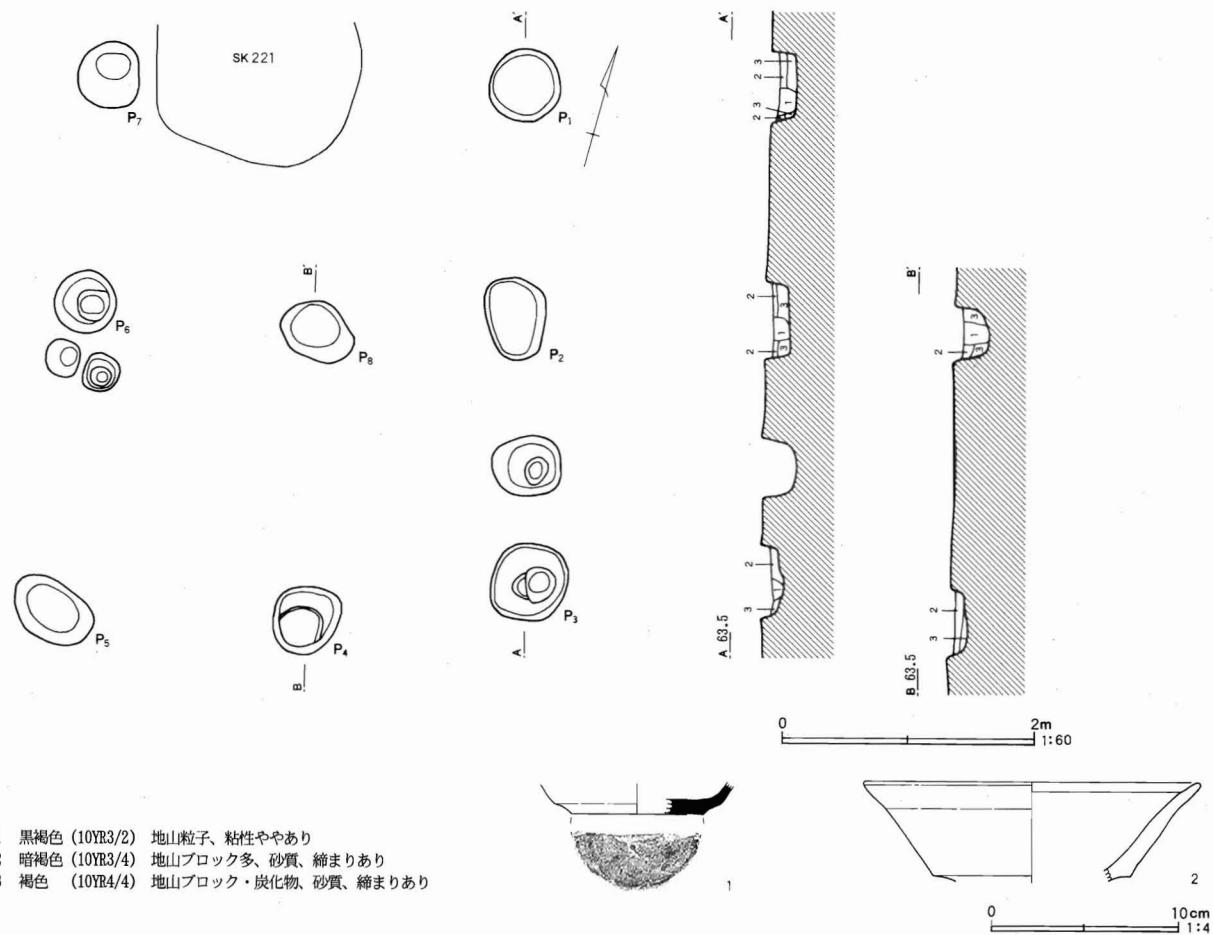
第133図 第4号掘立柱建物跡

の柱穴は土坑に切られ不明であるが、総柱建物と考えられ、主軸はN-16°-Wである。

柱間間隔は、梁行1.9m、桁行1.9mであるが、P 2・P 3間が2.1m、P 5・P 6間が2.5mを測る。

柱穴は円形で、径52~60cm、深さ17~27cmである。柱痕は、P 1~3・8で確認できた。

遺物は、須恵器壺がP 3から、土師器高壺壺部がP 4から出土した。



第134図 第12号掘立柱建物跡・出土遺物

第12号掘立柱建物跡出土遺物観察表 (第134図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	壺			(7.0)	B I	良好	灰	40	P 3	底部右回転ヘラ削り
2	高壺	(17.7)			B E	普通	橙	15	P 4	外面横ナデ

(3) 土坑

今回、C区で報告対象となる土坑は、第71号土坑から第77号土坑、第79号土坑から第87号土坑、第96号土坑から113号土坑、第221号土坑（J-19グリッド内）で、第78号土坑が欠番になっており、35基の報告である。

なお、第221号土坑は、L-19グリッドにもあり、遺構番号が重複することから、J-19グリッド内の第221号土坑を欠番の第218号土坑として番号を振り替え報告する。

第71号土坑（第135図）

J-16グリッドに位置する。第157・163号住居跡を切る。平面は、長軸99cm×短軸48cmの楕円形で、深さ17cmを測る。主軸方位は、N-11°-Wを指す。

遺物は、須恵器片、土師器片が出土した。

第72号土坑（第135図）

I-15・16グリッドにまたがって位置する。平面は、径130cm×110cmの円形で、深さ22cmを測る。主軸方位は、N-85°-Wを指す。

遺物は、土師器片が出土した。

第73号土坑（第135・136図）

J-15・16グリッドにまたがって位置する。第108号住居跡を切っている。平面は、径79cmの円形で、深さ43cmを測る。

遺物は、土師器甕・台付甕が出土した。

第74号土坑（第135・136図）

K-16グリッドに位置する。平面は、281cm×181cmの不定形で、深さ16cmを測る。主軸方位は、N-37°-Wを指す。

遺物は、土師器坏・鉢・甕の他に土錐が出土した。

第75号土坑（第135・136図）

K-16グリッドに位置する。第164号住居跡を切っている平面は、210cm×81cmの不整楕円形で、深さ20cmを測る。主軸方位は、N-71°-Wを指す。

遺物は、土師器坏が出土した。

第76号土坑（第137・138図）

L-16グリッドに位置する。第168号住居跡のカ

マドを切る。平面は、274cm×114cmの不整楕円形で、深さ13~38cmを測る。主軸方位は、N-10°-Wを指す。

遺物は、土師器坏・甕の他に土錐が出土した。

第77号土坑（第137・138図）

M-16グリッドに位置する。第172号住居跡を切る。平面は、229cm×121cmの楕円形で、深さ37cmを測る。主軸方位は、N-8°-Wを指す。

遺物は、須恵器坏、土師器坏・甕の他に土錐が出土した。

第79号土坑（第137・138図）

K-16グリッドに位置する。第170号住居跡と重複するが先後関係は不明である。平面は、80cm×54cmの方形気味で、深さ19cmを測る。主軸方位は、N-73°-Eを指す。

遺物は、土師器坏が出土した。

第80号土坑（第137・138図）

K-16グリッドに位置する。第170号住居跡と重複するが先後関係は不明である。平面は、180cm×93cmの不整形で、深さ24cmを測る。主軸方位は、N-84°-Eを指す。

遺物は、土師器坏の他に須恵器甕片が出土した。

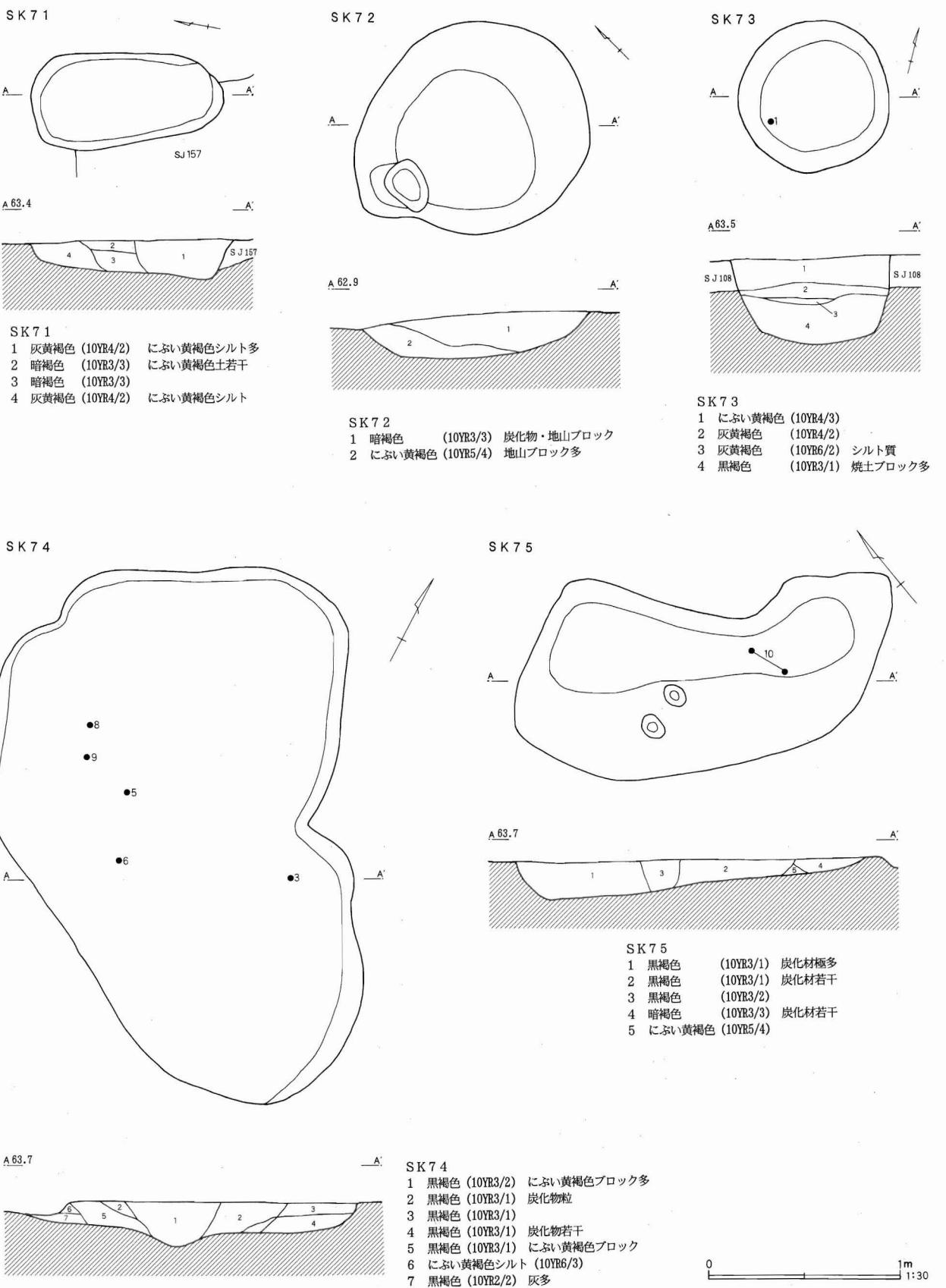
第81号土坑（第139図）

K-16グリッドに位置する。第170号住居跡・第82号土坑と重複するが、先後関係は不明である。平面は、140cm×73cmの楕円形で、深さ44cmを測る。主軸方位は、N-75°-Eを指す。

遺物は、土師器片が出土した。

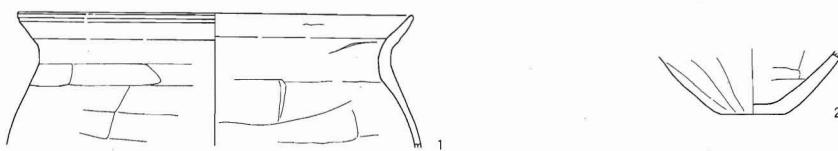
第82号土坑（第139図）

K-16グリッドに位置する。第170号住居跡・第81号土坑と重複するが、先後関係は不明である。平面は、103cm×83cmの楕円形で、深さ27cmを測る。主軸方位は、N-29°-Wを指す。

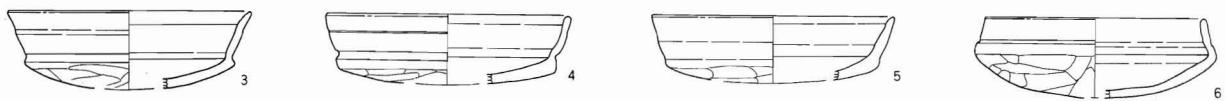


第135図 第71~75号土坑

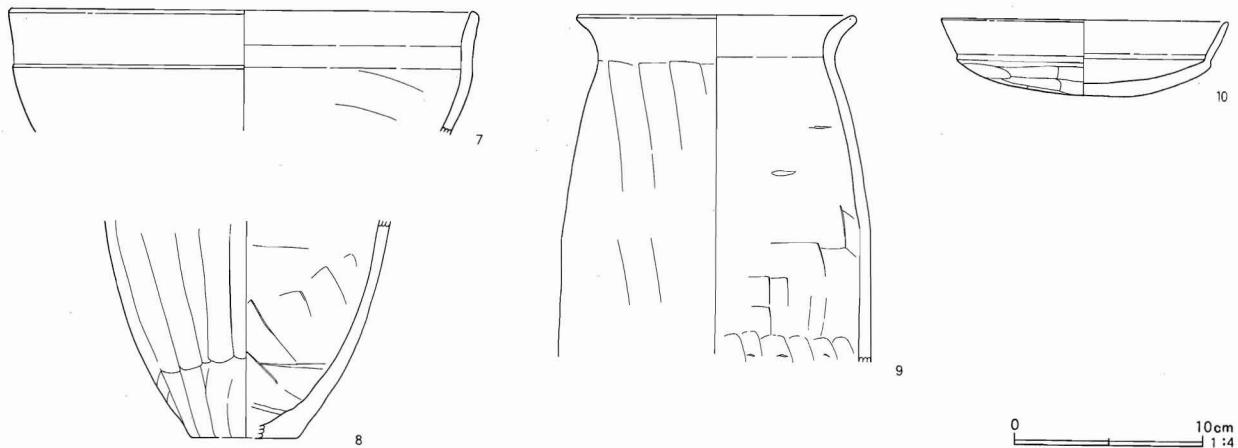
SK 73



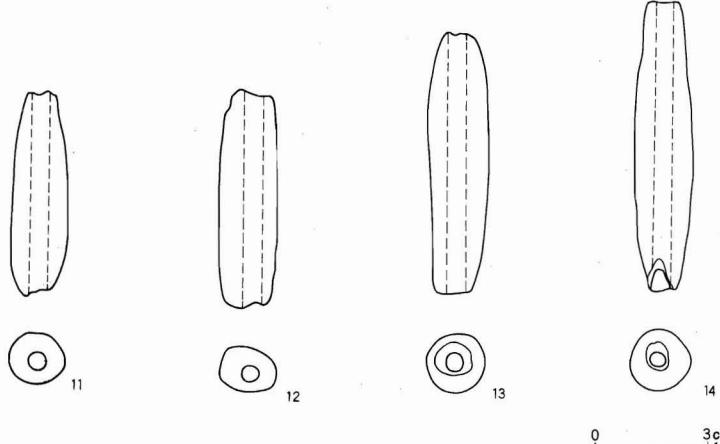
SK 74



SK 75



SK 74



第136図 第73～75号土坑出土遺物

第73号土坑出土遺物観察表 (第136図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	甕	(20.8)			B E J	普通	にぶい褐	30	床	No. 1 頸部外面横ナデ 胴部外面←ヘラ削り
2	台付甕				E G J	普通	橙	75	覆土	脚台部剥離

第74号土坑出土遺物観察表 (第136図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
3	壺	(12.8)			B J	良好	にぶい褐	40	覆土	底部外面←ヘラ削り
4	壺	(12.8)			D J	良好	灰黄褐	30	覆土	底部←ヘラ削り
5	壺	(12.9)			D J	普通	橙	20	床	底部外面←ヘラ削り

第74号土坑出土遺物観察表（第136図）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
6	壺	(11.5)	4.2		D	普通	灰黄褐	40	床	口縁部横ナデ 底部外面←ヘラ削り
7	鉢	(24.5)			J多	普通	にぶい橙	15	覆土	口縁外面横ナデ 外面摩耗し調整不明
8	甕			5.5	J多	普通	灰褐	40	覆土	外面↑ヘラ削り 内面工具ナデ
9	甕	(14.5)			H J L	普通	にぶい褐	30	覆土	胴部外面↓ヘラ削り 内面工具横ナデ 粘土接合部縦指ナデ

第75号土坑出土遺物観察表（第136図）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
10	壺	15.0	3.9		B	普通	にぶい黄橙	85	覆土	内面器壁荒れ 外面調整不明瞭

第74号土坑出土土錐観察表（第136図）

番号	長さ	径	孔径	重さ	分類	色調	残存	備考
11	5.41	1.54	0.53	(10.16)	Ba V	褐	95	
12	5.91	1.58	0.49	11.49	Aa IV	灰黄褐	100	
13	6.92	1.63	0.46	17.09	Aa III	暗赤褐	100	
14	7.62	1.59	0.46	(18.64)	Aa II	にぶい赤褐	95	
15	(5.50)	(1.58)	0.50	(9.29)	B	にぶい赤褐		
16	(3.26)	1.33	0.42	(3.42)	B	明赤褐		

第83号土坑（第139図）

K—16グリッドに位置する。第170号住居跡を切る。平面は、112cm×70cmの楕円形で、深さ22cmを測る。主軸方位は、N—81°—Eを指す。

遺物は、土師器片が出土した。

第84号土坑（第139図）

K—16グリッドに位置する。第170号住居跡と重複するが、先後関係は不明である。平面は、93cm×87cmの円形で、深さ18cmを測る。

遺物は、土師器片が出土した。

第85号土坑（第139図）

K—16グリッドに位置する。第170号住居跡を切る。平面は、80cm×74cmの円形で、深さ10cmを測る。

遺物は、土師器片が出土した。

第86号土坑（第139図）

K—16グリッドに位置する。第170号住居跡と重複するが、先後関係は不明である。第160号住居跡のP 3に南西部が切られている。平面は、130cm×63cmの不整形で、深さ15cmを測る。主軸方位は、N—0°—Eを指す。

遺物は、土師器片が出土した。

第87号土坑（第139図）

J—16グリッドに位置する。第166号住居跡を切る。平面は、75cm×80cmの円形で、深さ16cmを測る。

第96号土坑（第140図）

H—18グリッドに位置する。平面は、77cm×81cmの円形で、深さ40cmを測る。

遺物は、土師器片が出土した。

第97号土坑（第140図）

H—18グリッドに位置する。第219号住居跡を切る。平面は、113cm×104cmの方形で、深さ16cmを測る。主軸方位は、N—40°—Eを指す。

遺物は、土師器片が出土した。

第98号土坑（第140図）

I—18グリッドに位置する。平面は、70cm×62cmの円形で、深さ44cmを測る。

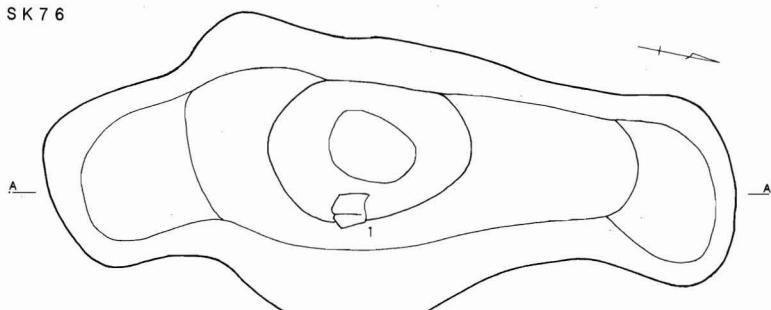
遺物は、土師器片が出土した。

第99号土坑（第140・142図）

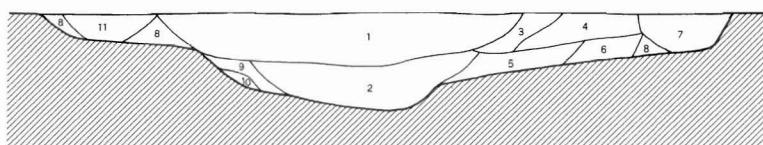
I—17グリッドに位置する。平面は、173cm×134cmの長方形で、深さ20cmを測る。主軸方位は、N—64°—Eを指す。

遺物は、須恵器壺・高台付壺・高台付塼、土錐の

SK 7 6



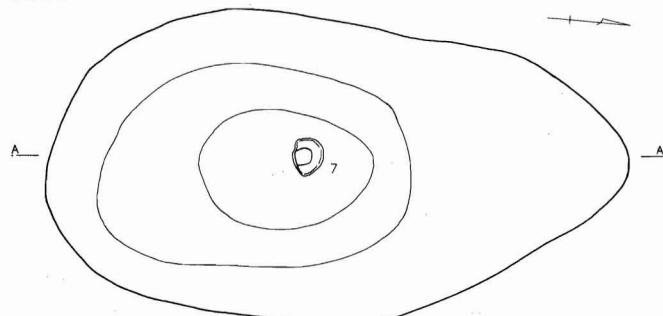
A 63.5



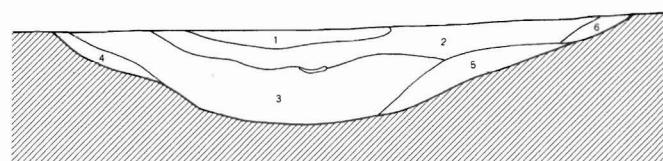
SK 7 6

- 1 暗褐色 (10YR3/3) 炭化物
 2 黒褐色 (10YR2/3) 炭化物、灰白色粘土僅か
 3 暗褐色 (10YR3/3) 灰多、明黄褐色多
 4 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 灰若干
 5 灰黄褐色 (10YR4/2) 明黄褐色土
 6 灰黄褐色 (10YR4/2)
 7 黒褐色 (10YR3/2)
 8 にぶい黄褐色シルト (10YR5/4)
 9 にぶい黄褐 (10YR5/4) 暗褐色土若干
 10 焼土
 11 黒褐色 (10YR3/2)

SK 7 7



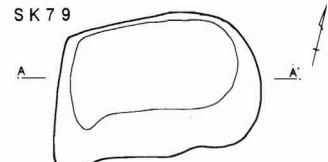
A 63.4



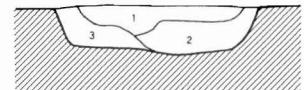
SK 7 7

- 1 にぶい黄褐色 (10YR4/3)
 2 黒褐色 (10YR3/1) 焼土ブロック、炭化物多
 3 黒褐色 (10YR2/2) 焼土ブロック、炭化物多
 4 にぶい黄褐色 (10YR4/3) にぶい黄橙色土
 5 暗褐色 (10YR3/3) 焼土粒子僅か
 6 褐色 (10YR4/4)

SK 7 9



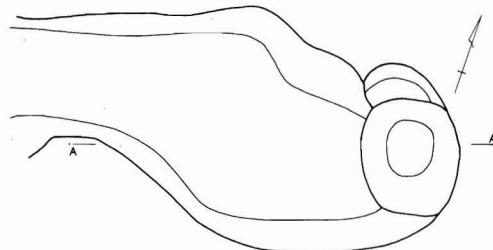
A 63.3



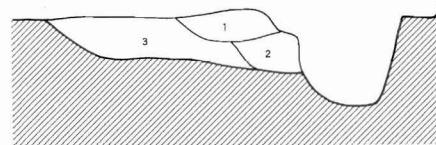
SK 7 9

- 1 黒褐色 (10YR3/2) 焼土極多、白色微粒子多
 2 灰黄褐色 (10YR4/2) 黄褐色砂質土、炭化物粒子若干
 3 にぶい黄褐色 (10YR5/4) 砂質

SK 8 0



A 63.3



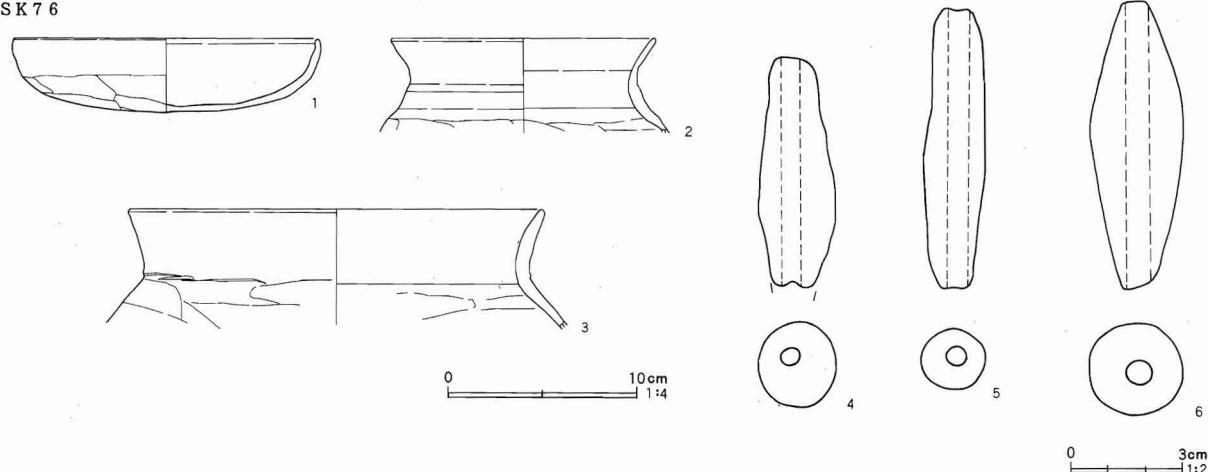
SK 8 0

- 1 黒褐色 (10YR3/1) 黄褐色砂質土
 2 黒褐色 (10YR3/1) 焼土、炭化物若干
 3 黑褐色 (10YR3/2) 黄褐色砂質土、焼土若干

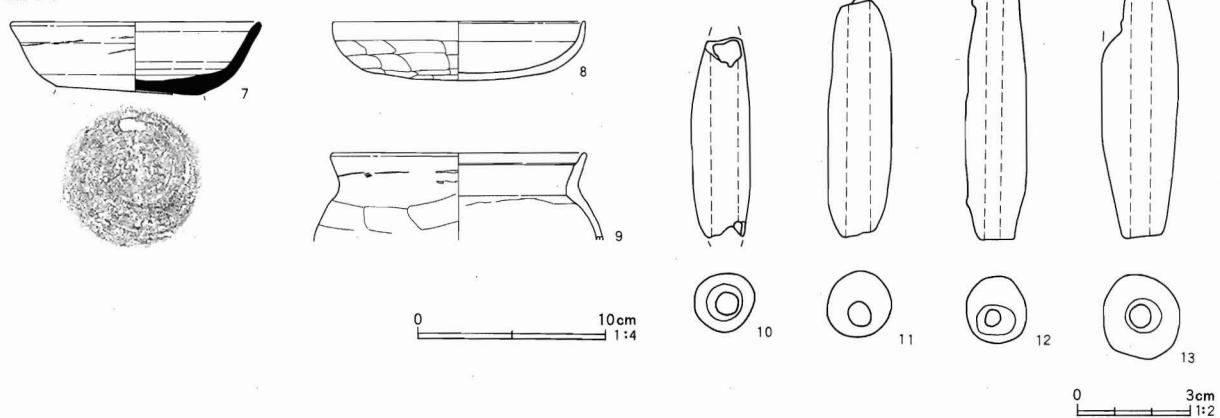
0 1m 1:30

第137図 第76・77・79・80号土坑

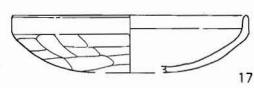
SK 7 6



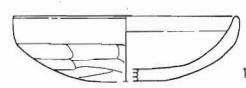
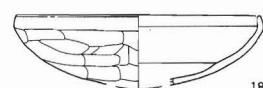
SK 7 7



SK 7 9



SK 8 0



第138図 第76・77・79・80号土坑出土遺物

第76号土坑出土遺物観察表 (第138図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	壺	(16.0)	3.8		B D J	普通	橙	60	床	
2	甕	(14.0)			B D J	普通	にぶい橙	25	覆土	
3	甕	(22.0)			B D J	普通	橙	15	覆土	

第76号土坑出土土錘観察表 (第138図)

番号	長さ	径	孔径	重さ	分類	色調	残存	備考
4	(6.03)	2.32	0.52	(27.45)	Ba	にぶい黄橙		
5	7.24	1.76	0.55	27.71	Ba III	灰黄褐	100	
6	7.35	2.67	0.62	43.01	Ba III	橙	100	

第77号土坑出土遺物観察表（第138図）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
7	坏	13.1	3.7	7.7	B J L	良好	灰	100	覆土中位	No.1 底部右回転ヘラ削り 内面ロクロ痕 顕著 体部内外面粘土巻き上げ痕
8	坏	(13.3)	3.15		F	良好	にぶい橙	40	覆土	口縁内外面ロクロナデ 底部手持ちヘラ削り
9	甕	(13.2)			G	良好	にぶい黄橙	40	覆土	頸部内外面接合痕 脊部外面ヘラ削り

第77号土坑出土土錘観察表（第138図）

番号	長さ	径	孔径	重さ	分類	色調	残存	備考
10	(5.33)	1.63	0.44	(11.86)	Ba IV	灰黄褐	80	
11	6.27	1.85	0.57	19.32	Ba IV	黒褐	100	
12	6.69	1.76	0.56	19.66	Bb III	灰褐	100	
13	(6.72)	2.16	0.55	(25.05)	Ba II	灰黄褐	80	
14	(3.65)	1.81	0.48	(9.13)	B	黒褐		
15	(4.70)	1.80	0.47	(12.54)	B	にぶい黄橙	50	
16	(5.70)	2.03	0.74	(19.78)	Ba	にぶい褐	70	

第79号土坑出土遺物観察表（第138図）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
17	坏	(12.4)	3.0		B E J	普通	にぶい橙	25	覆土	底部外面←ヘラ削り

第80号土坑出土遺物観察表（第138図）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
18	坏	(12.8)			J	普通	橙	25	覆土	底部外面←ヘラ削り
19	坏	(11.7)	4.5		B	普通	にぶい黄橙	30	覆土	底部外面←ヘラ削り

他に須恵器甕片、土師器片が出土した。

第100号土坑（第140図）

K-19グリッドに位置する。第198号住居跡を切る。平面は、92cm×75cmの楕円形で、深さ54cmを測る。主軸方位は、N-71°-Eを指す。

遺物は、須恵器坏片、土師器片が出土した。

第101号土坑（第140図）

K-19グリッドに位置する。平面は、92cm×87cmの円形で、深さ66cmを測る。

遺物は、土師器片が出土した。

第102号土坑（第141図）

K-19グリッドに位置する。第200号住居跡を切る。平面は、83cm×75cmの円形で、深さ52cmを測る。

遺物は、土師器片と土錘が出土した。

第103号土坑（第141図）

J-19グリッドに位置する。第189・219号住居跡を切る。平面は、120cm×100cmの楕円形で、深さ28

cmを測る。主軸方位は、N-80°-Wを指す。

遺物は、土師器甕片が出土した。

第104号土坑（第141・142図）

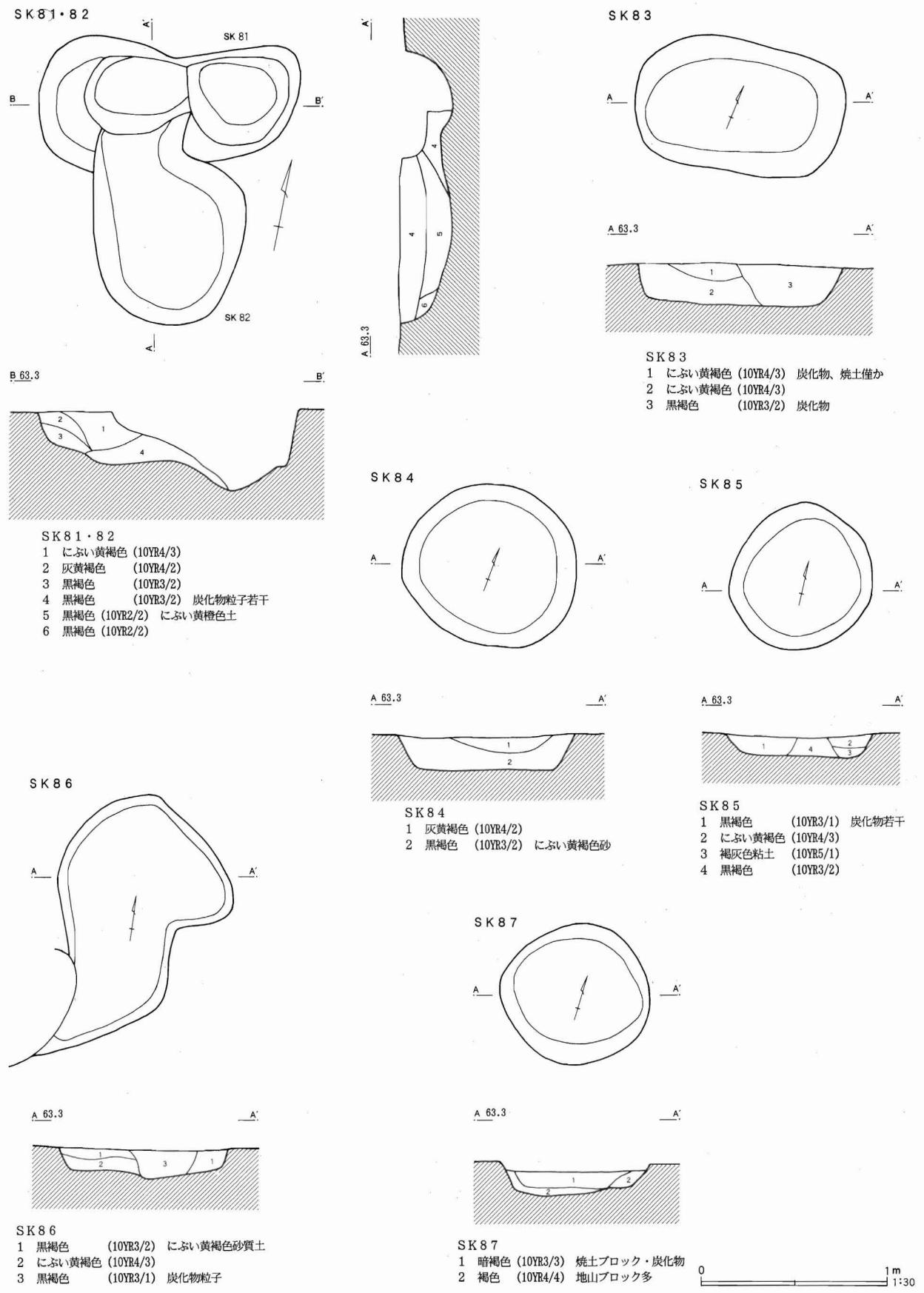
K-19グリッドに位置する。第198号住居跡に南半が切られている。平面は、98cm×81cmの楕円形で、深さ74cmを測る。主軸方位は、N-32°-Eを指す。

遺物は、土師器甕が出土した。

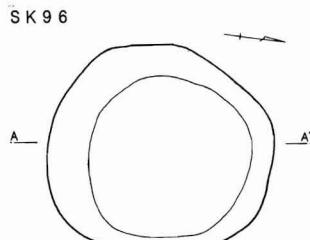
第105号土坑（第141・142図）

J-19グリッドに位置する。第189号住居跡の下にあり、第219号住居跡を切っている。平面は、100cm×80cmの楕円形で、深さ45cmを測る。主軸方位は、N-14°-Wを指す。

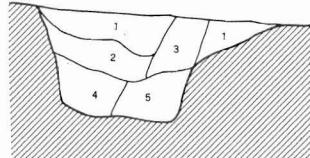
遺物は、土師器坏・甕が出土した。



第139図 第81~87号土坑

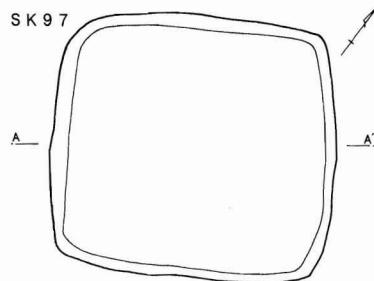


A 62.9

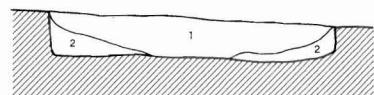


SK 96

- 1 にぶい黄褐色 (10YR5/4)
- 2 褐色 (10YR4/4) 炭
- 3 にぶい黄褐色 (10YR4/3)
- 4 にぶい黄褐色 (10YR5/3) シルト
- 5 にぶい黄褐色 (10YR5/3) 粘性あり、炭僅か

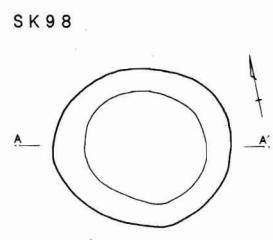


A 63.7

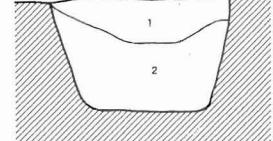


SK 97

- 1 暗褐色 (10YR3/3) 炭化物少、焼土ブロック、砂質
- 2 黒褐色 (10YR3/2) 炭化物少



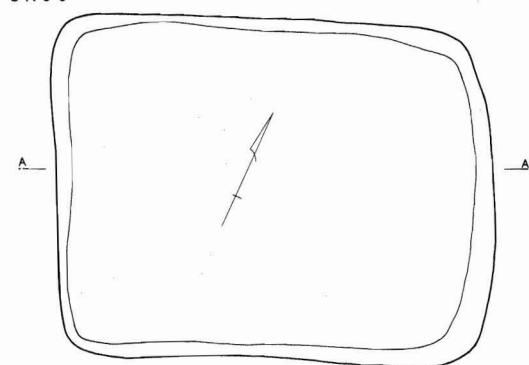
A 63.4



SK 98

- 1 にぶい黄褐 (10YR4/3) 炭化物少、焼土粒子
- 2 暗褐 (10YR3/3) 炭化物僅か

SK 99



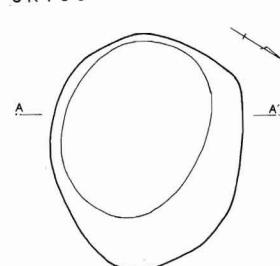
A 63.6



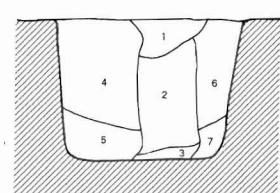
SK 99

- 1 暗褐 (10YR3/3) 炭化物粒子多、焼土少

SK 100



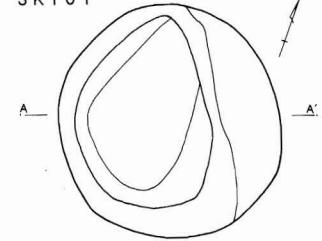
A 63.7



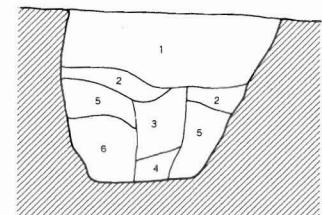
SK 100

- 1 褐色 (10YR4/4) 焼土若干
- 2 にぶい黄褐 (10YR4/3) にぶい黄橙シルト若干、炭化物僅か
- 3 褐灰シルト (10YR5/1)
- 4 褐色 (10YR4/4) にぶい黄橙シルト多
- 5 にぶい黄褐 (10YR5/4) 褐灰シルト若干
- 6 褐色 (10YR4/4) にぶい黄橙シルト
- 7 にぶい黄褐 (10YR4/3) 褐灰シルト僅か

SK 101



A 63.7



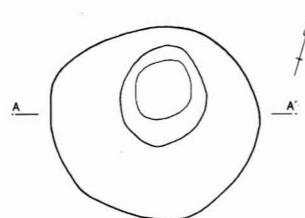
SK 101

- 1 にぶい黄褐 (10YR4/3)
- 2 暗褐 (10YR3/4) 炭化物・黄褐色シルト
- 3 にぶい黄褐 (10YR4/3)
- 4 褐色 (10YR4/4) 褐灰色シルト
- 5 暗褐 (10YR3/4)
- 6 褐色 (10YR4/4) 黄褐色シルト若干

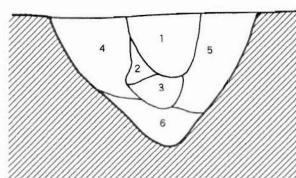
0 1m 1:30

第140図 第96~101号土坑

SK 102



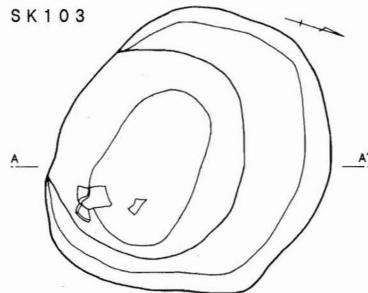
A 63.6



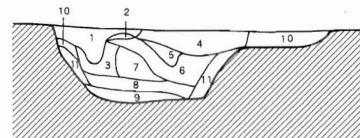
SK 102

- 1 暗褐色 (10YR3/3) 炭化物
2 暗褐色 (10YR3/4) にぶい黄橙シルト多
3 暗褐色 (10YR3/3) 炭化物・にぶい黄橙シルト
4 暗褐色 (10YR3/4) にぶい黄橙色シルト若干
5 にぶい黄褐 (10YR4/3) 炭化物若干
6 にぶい黄褐 (10YR4/3)

SK 103



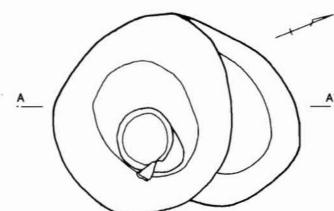
A' 63.4



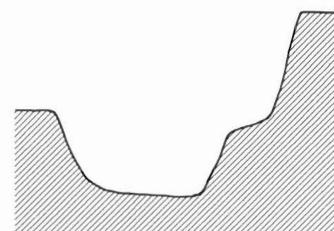
SK 103

- 1 灰黄褐 (10YR4/2) 炭化物僅か
2 灰黄褐 (10YR4/2)
3 灰黄褐 (10YR5/2)
4 にぶい黄褐 (10YR5/3) 炭、灰若干
5 にぶい黄橙 (10YR6/4)
6 黒褐 (10YR3/2) 炭、灰多
7 にぶい黄橙 (10YR6/3) 炭、灰若干
8 炭灰層
9 焼土
10 にぶい黄褐 (10YR4/3) 焼土・炭、灰若干
11 灰黄褐 (10YR4/2) 炭化物僅か

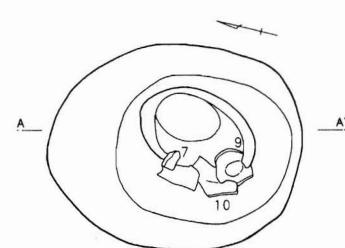
SK 104



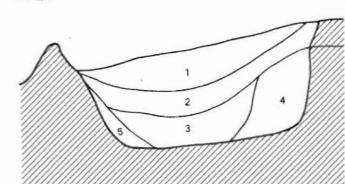
A 63.2



SK 105



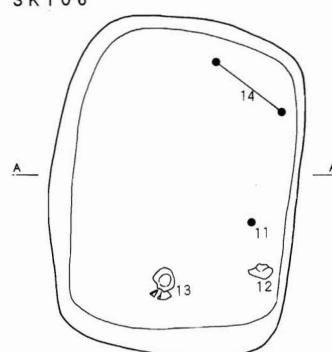
A 63.4



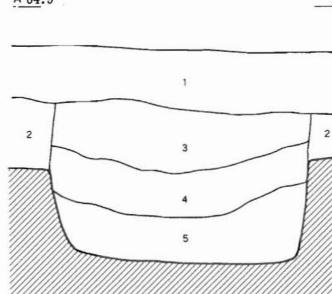
SK 105

- 1 にぶい黄褐色 (10YR5/4) 焼土粒子、炭化物粒子少
2 褐色 (10YR4/4) 焼土ブロック、炭化物粒子多
3 暗褐色 (10YR3/3) 炭化物粒子、灰褐色シルト多
4 にぶい黄褐色 (10YR5/3) 炭化物粒子少(砂質)
5 にぶい黄橙色 (10YR6/3) 焼土粒子、炭化物粒子少(砂質)

SK 106



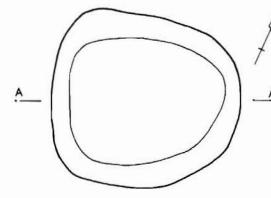
A 64.9



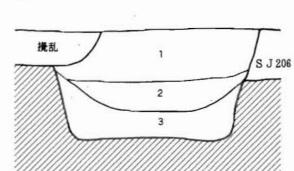
SK 106

- 1 暗褐色土 (10YR3/3) 耕作土(浅間Aバシス混入)
2 にぶい黄褐色 (10YR5/4) 白色微粒子、焼土粒子少(地山層)
3 褐色 (10YR4/4) 白色微粒子・焼土粒子、炭化物粒子少
4 暗褐色 (10YR3/3) 烧土粒子、炭化物粒子少(土器片を多く含む)
5 黑褐色 (10YR3/2) 烧土粒子、炭化物粒子、黄褐色シルト少

SK 107



A 63.6



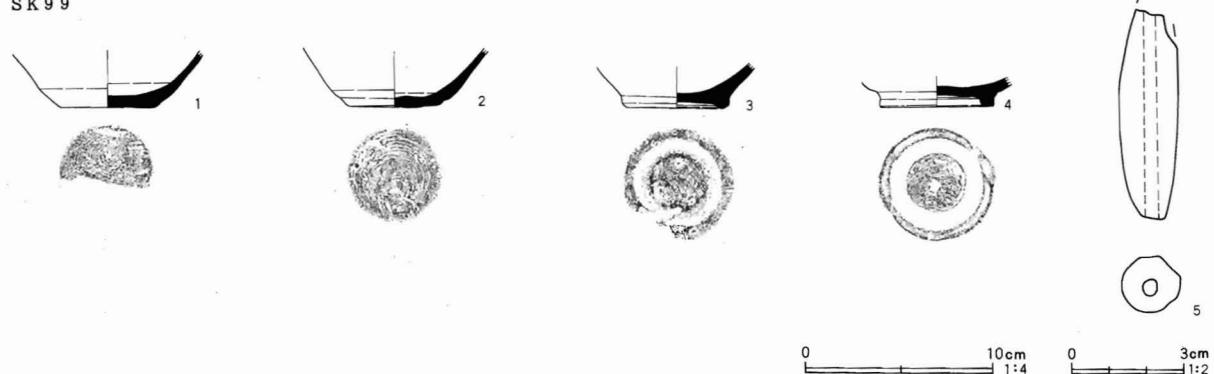
SK 107

- 1 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 黄褐色シルト、焼土ブロック少
2 褐灰色 (10YR4/1) 灰白色シルト、焼土ブロック少
3 黑褐色 (10YR3/2) 炭化物粒子少

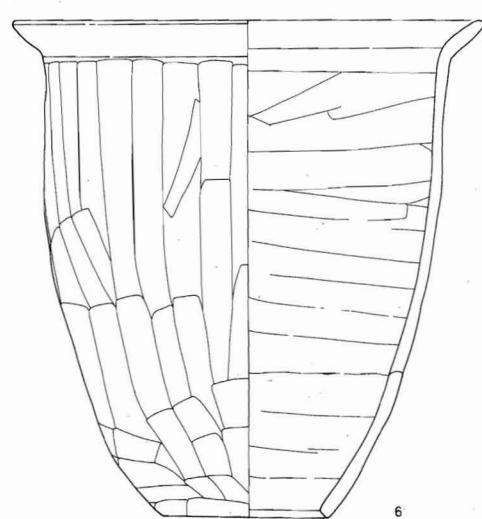
0 1m 1:30

第141図 第102~107号土坑

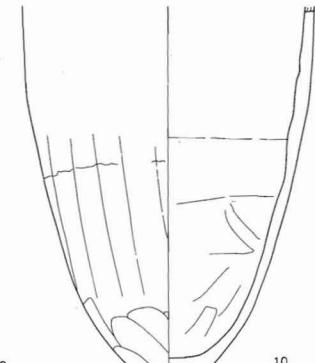
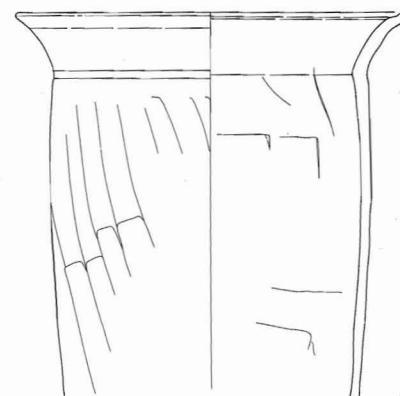
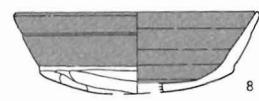
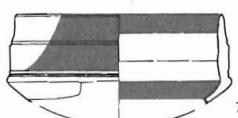
SK 99



SK 104



SK 105



SK 106



第142図 第99・104~106号土坑出土遺物

第99号土坑出土遺物観察表（第142図）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	壺			(5.0)	B	普通	浅黄橙	45	覆土	底部ヘラ削り
2	壺			4.8	B J	普通	浅黄橙	70	覆土	底部右回転糸切り
3	高台付壺			5.1	A B J L	普通	浅黄橙	60	覆土	
4	高台付壺			5.9	B J L	普通	黒褐	60	覆土	糸切り後高台貼付

第99号土坑出土土錘観察表（第142図）

番号	長さ	径	孔径	重さ	分類	色調	残存	備考
5	(5.44)	1.58	0.40	(12.21)	Ba IV	明赤褐	80	
5-2	(2.24)	(1.42)	0.34	(2.57)		橙		
5-3	(4.20)	1.54	0.62	(8.30)	Aa	黒褐		

第102号土坑出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ	分類	色調	残存	備考
1	(4.30)	(1.44)	0.47	(5.16)	Ba	にぶい橙		

第104号土坑出土遺物観察表（第142図）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
6	甌	24.6	26.5	8.6	H J	普通	にぶい黄橙	95	覆土中位	口縁部ナデ 外面↓ヘラ削り

第105号土坑出土遺物観察表（第142図）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
7	壺	(10.8)			B	良好	にぶい黄橙	40	床	口縁部横ナデ 内外面油煙付着
8	壺	(12.8)			B	良好	灰黄褐	40	覆土	口縁部外面・内面黑色処理
9	甌	(20.2)			B D J	良好	にぶい黄橙	30	覆土	胴部外面↓ヘラ削り
10	甌			3.6	B D J	普通	橙	60	覆土	胴部外面↓ヘラ削り

第106号土坑出土遺物観察表（第142図）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
11	高台付壺			5.3	B J	普通	灰白	60	覆土	底部糸切り後、高台貼付
12	高台付壺			5.7	B E J	普通	にぶい橙	80	覆土	酸化焰焼成
13	高台付壺	(12.7)	5.3	5.7	A B J	普通	浅黄	60	覆土	器壁摩耗 高台貼付
14	高台付壺	(12.6)	5.6	6.0	B J L	普通	にぶい黄橙	75	覆土	底部糸切り後、高台貼付

第106号土坑出土土錘観察表（第142図）

番号	長さ	径	孔径	重さ	分類	色調	残存	備考
15	(4.10)	1.58	0.35	(9.65)	B	にぶい赤褐		
16	(4.48)	1.47	0.57	(8.06)	Ba	にぶい黄褐	80	
17	(6.06)	1.53	0.37	(11.93)	Ba	明赤褐	100	

第106号土坑（第141・142図）

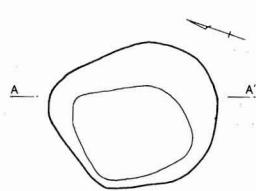
L-17グリッドに位置する。第381号住居跡を切る。平面は、133cm×99cmの隅丸長方形で、深さ84cmを測る。主軸方位は、N-10°-Wを指す。

遺物は、高台付壺・高台付壺の他に土錘が出土した。

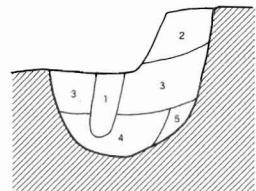
第107号土坑（第141図）

J-18グリッドに位置する。第206・209号住居跡を切る。平面は、75cm×68cmの不整円形で、深さ43cmを測る。主軸方位は、N-65°-Eを指す。

SK 108



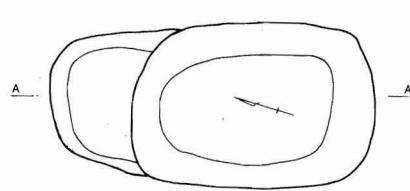
A 63.6



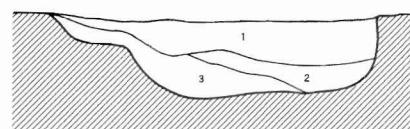
SK 108

- 1 灰黄褐色 (10YR4/2) 炭化物粒子少
 2 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 炭化物粒子少
 3 暗褐色 (10YR3/3) 烧土粒子少
 4 暗褐色 (10YR3/4) 炭化物粒子少
 5 褐色 (10YR4/6) 炭化物粒子少

SK 109



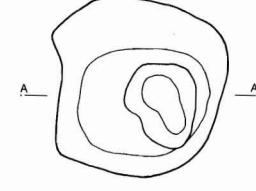
A 63.2



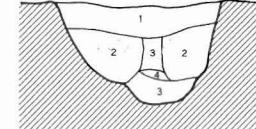
SK 109

- 1 褐色 (10YR4/4) 黄褐色シルト 烧土粒子多
 2 褐色 (10YR4/6) 烧土粒子 炭化物粒子少
 3 にぶい黄褐色 (10YR5/4) 烧土粒子少(砂質)

SK 110



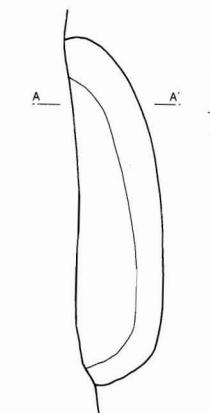
A 63.3



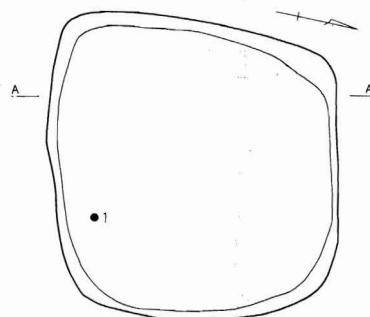
SK 110

- 1 にぶい黄褐色 (10YR4/3)
 2 暗褐色 (10YR3/4) にぶい黄橙シルト多
 3 暗褐色 (10YR3/3)
 4 にぶい黄褐色シルト (10YR5/3) 炭化物僅か

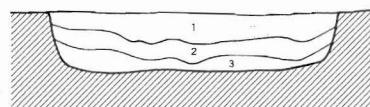
SK 113



SK 111



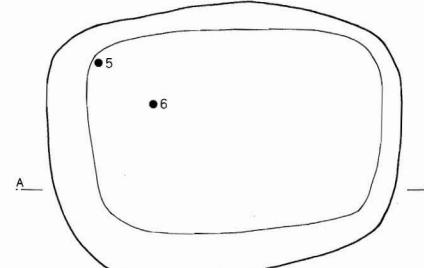
A 63.4



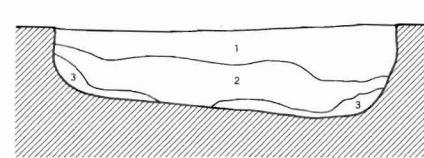
SK 111

- 1 黒褐色 (10YR3/1) 烧土粒子少
 2 灰黄褐色 (10YR4/2) 灰黄褐色土少
 3 にぶい黄褐色 (10YR5/3) 炭化物粒子少(砂質)

SK 112

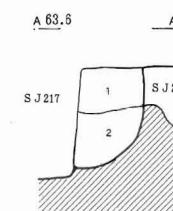


A 63.6



SK 112

- 1 黒褐色 (10YR3/2) 烧土粒子、炭化物粒子少
 2 暗褐色 (10YR3/3) 烧土粒子、炭化物粒子少
 3 灰黄褐色 (10YR5/2) 烧土粒子少 砂質



SK 113

- 1 黒褐色 (10YR3/2) 白色微粒子少
 2 暗褐色 (10YR3/3) 烧土粒子少



第143図 第108~113号土坑

第108号土坑（第143図）

J・K-18グリッドにまたがって位置する。第206号住居跡を切る。平面は、66cm×58cmの楕円形で、深さ56cmを測る。主軸方位は、N-2°-Wを指す。

遺物は、土師器片が出土した。

第109号土坑（第143図）

J-18グリッドに位置する。第205号住居跡を切る。平面は、129cm×65cmの隅丸長方形で、深さ30cmを測る。主軸方位は、N-11°-Wを指す。

第110号土坑（第143図）

K-18グリッドに位置する。第203・204号住居跡を切る。平面は、70cm×71cmの不整円形で、深さ39cmを測る。

遺物は、須恵器片、土師器片が出土した。

第111号土坑（第143・144図）

J-17グリッドに位置する。第223号住居跡を切る。平面は、116cm×120cmの隅丸方形で、深さ22cmを測る。主軸方位は、N-11°-Wを指す。

遺物は、土師器坏、須恵器高台付坏の他に土錘が出土した。

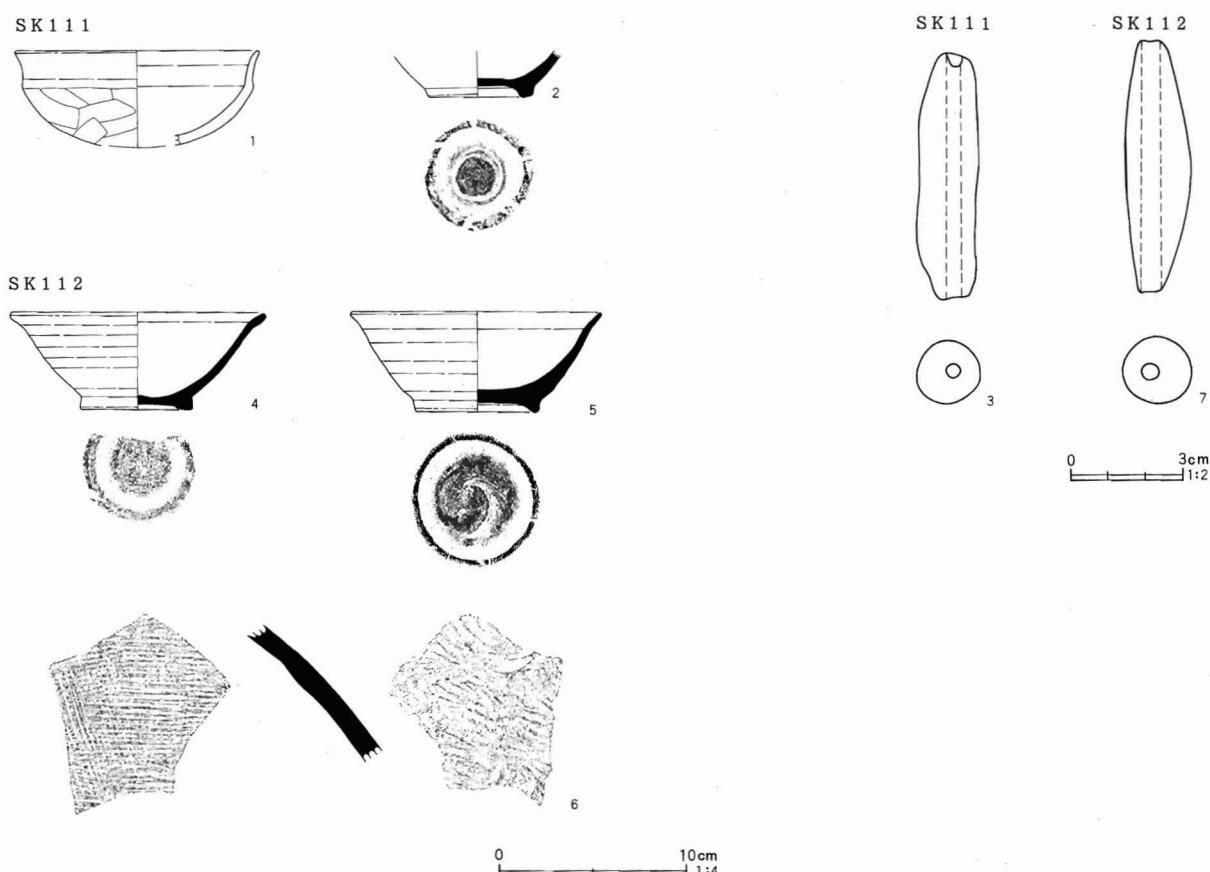
第112号土坑（第143・144図）

J-17グリッドに位置する。第223号住居跡を切る。平面は、140cm×107cmの隅丸長方形で、深さ37cmを測る。主軸方位は、N-84°-Eを指す。

遺物は、須恵器高台付塊・甕片の他に土錘が出土した。

第113号土坑（第143図）

J-17グリッドに位置する。第217号住居跡に西



第144図 第111・112号土坑・出土遺物

第111号土坑出土遺物観察表（第144図）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	坏	(12.8)		5.5	B	普通	橙	25	覆土	
2	高台付坏				B E J	普通	にぶい橙	60	覆土	貼付高台

第111号土坑出土土錐観察表（第144図）

番号	長さ	径	孔径	重さ	分類	色調	残存	備考
3	6.41	1.76	0.51	(21.53)	Ab IV	暗赤褐	80	

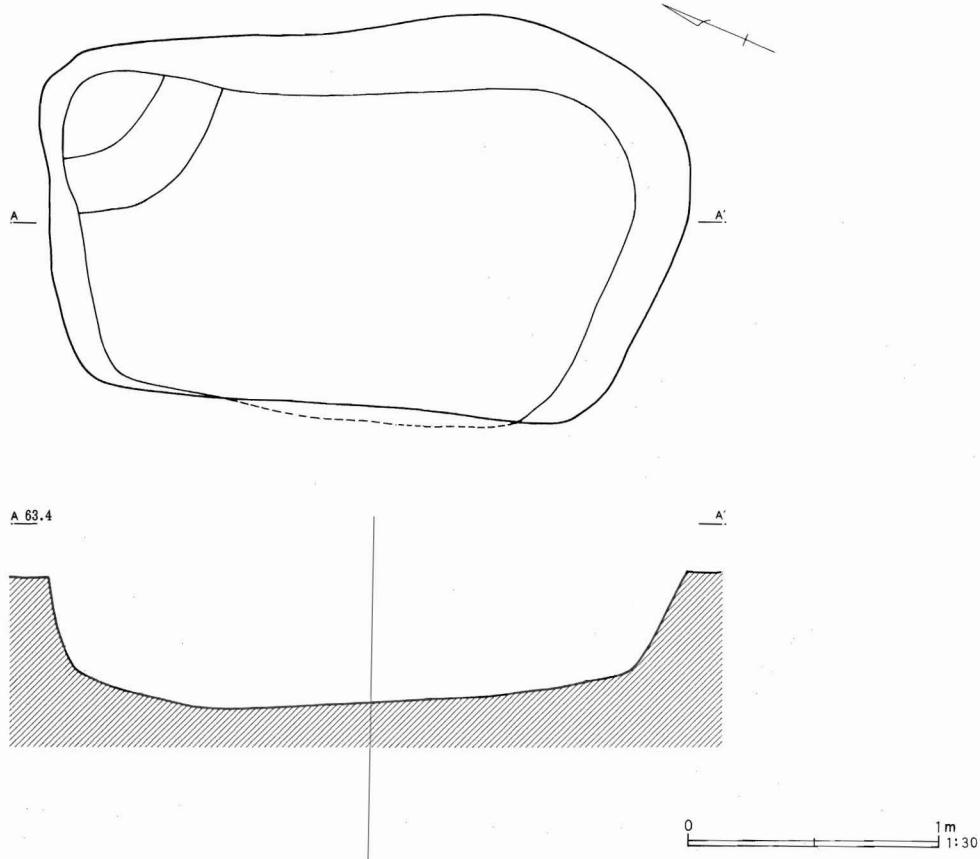
第112号土坑出土遺物観察表（第144図）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
4	高台付壺	(13.2)	5.3	5.9	BD	不良	黄灰	50	覆土	貼付高台
5	高台付壺	(13.2)	5.4	6.3	G J	不良	灰黄	40	覆土	貼付高台
6	甕片				B	良好	灰黄褐		覆土下位	外面櫛状工具ナデ 内面同心円文當て具痕

第112号土坑出土土錐観察表（第144図）

番号	長さ	径	孔径	重さ	分類	色調	残存	備考
7	6.61	1.87	0.53	19.27	Ba III	明赤褐	100	
8	(3.33)	(1.64)	0.46	(6.61)	Ba	橙		

SK 218



第145図 第218号土坑

半が切られ、第223号住居跡を切る。平面は、138cm×32cm以上で、深さ39cmを測る。主軸方位は、N—7°—Wを指す。

遺物は、土師器片が出土した。

第218号土坑（第145図）

J—19グリッドに位置する。第401・402号住居跡を切る。平面は、253cm×150cmの隅丸長方形で、深さ54cmを測る。主軸方位は、N—22°—Wを指す。

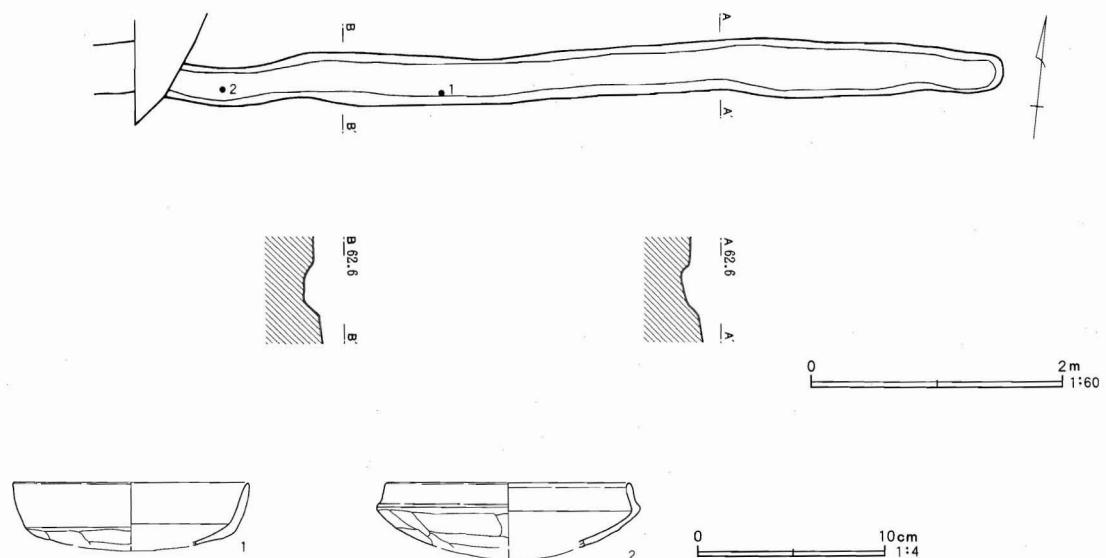
（4）溝跡

今回、C区で報告対象となる溝跡は第3号溝の1条のみである。

第3号溝（第146図）

H—16・17グリッドに位置する。断面は逆台形で、上巾39~61cm、下幅29~45cm、深さ11~14cmを測る。主軸方位は、N—81°—Eを指す。

遺物は、土師器壊が出土した。



第146図 第3号溝跡・出土遺物

第3号溝跡出土遺物観察表（第146図）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	壊	(12.4)			B D J L	不良	明赤褐	30	床	内外面やや摩耗
2	壊	(13.0)			A B D J	不良	橙	20	床	

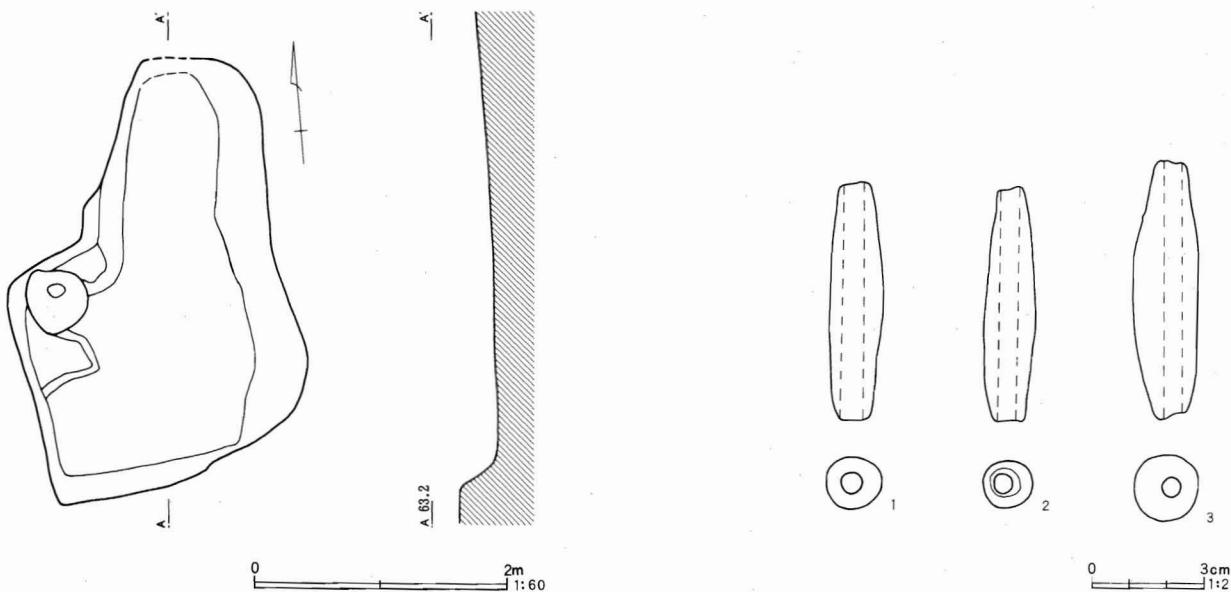
(5) 性格不明遺構

今回、C区で報告対象となる性格不明遺構は、第12・13・18~20号性格不明遺構の計5基である。

第12号性格不明遺構（第147図）

L-16グリッドに位置する。第168号住居跡に西半が切られ、第13号性格不明遺構を切っている。平面は、3.43m×2.16mの不定形で、深さ29cmを測る。主軸方位は、N-5°-Eを指す。

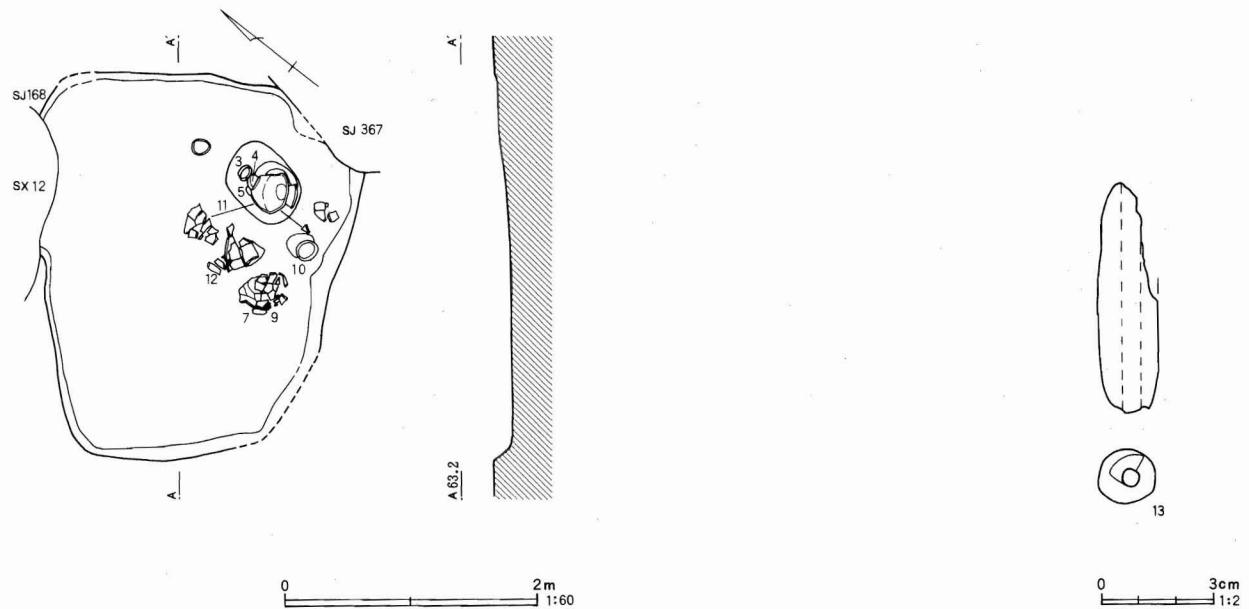
遺物は、土錘が出土した。



第147図 第12号性格不明遺構・出土遺物

第12号性格不明遺構出土土錘観察表（第147図）

番号	長さ	径	孔径	重さ	分類	色調	残存	備考
1	6.38	1.45	0.52	12.38	Ba IV	にぶい黄橙	100	
2	6.35	1.44	0.51	(10.35)	Bb IV	浅黄橙	95	
3	7.00	1.80	0.54	20.55	Ba III	浅黄橙	100	
4	(3.69)	1.73	0.55	(10.08)	Ba	にぶい黄橙		
5	(5.96)	2.16	0.54	(18.42)	Ba	にぶい橙		



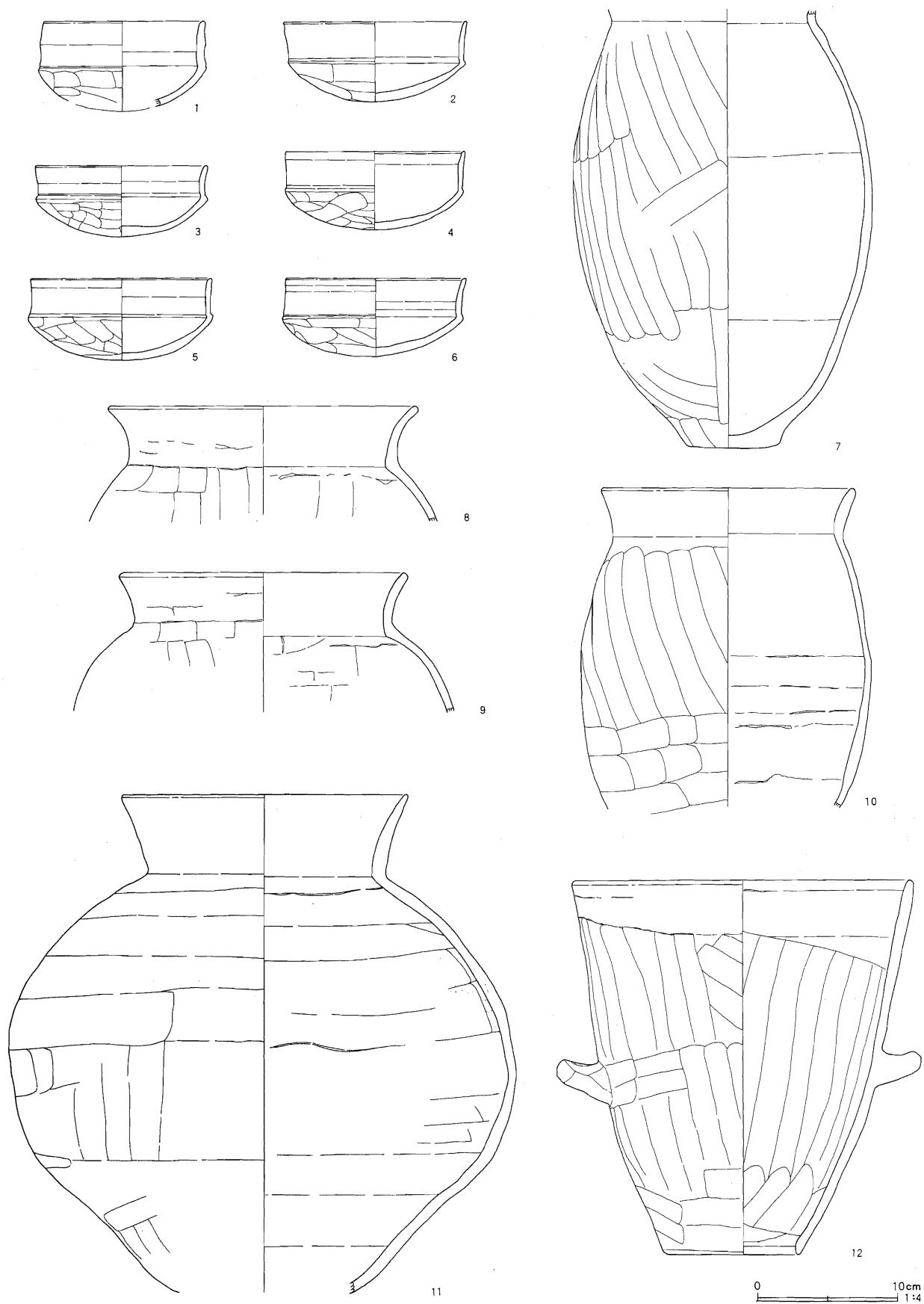
第148図 第13号性格不明遺構・出土遺物

第13号性格不明遺構出土遺物観察表（第149図）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	壺	11.3			J L	普通	にぶい橙	70	覆土	
2	壺	12.8	5.6		B E	普通	橙	100	覆土	
3	壺	12.1	5.0		E F	普通	橙	95	覆土	
4	壺	12.6	5.5		B E J	普通	にぶい橙	100	ピット	口縁部横ナデ 底部外面←ヘラ削り
5	壺	12.7	5.8		B E F	普通	橙	100	ピット	口縁部横ナデ 底部外面ヘラ削り
6	壺	12.7	5.5		B E F	普通	橙	100	ピット床	
7	甕			6.3	J L	普通	にぶい褐	80	覆土	外面↑・→ヘラ削り 底部平行一方向ヘラ削り
8	壺	(21.4)			B G	普通	にぶい橙	20	覆土	胴部外面←・↑ヘラ削り
9	壺	(19.8)			B G J	普通	にぶい橙	30	覆土	胴部外面←・↓ヘラ削り
10	甕	17.6			E J 極多	普通	にぶい橙	80	覆土	胴部外面↓・←ヘラ削り
11	壺	20.0			B E	良好	にぶい橙	60	ピット床	外面↓ヘラ削り後、横ナデ 内面横ナデ
12	甕	23.6	26.5	9.5	E J	普通	にぶい橙	95	覆土	胴部外面ヘラ削り 内面ナデ

第13号性格不明遺構出土土錐観察表（第148図）

番号	長さ	径	孔径	重さ	分類	色調	残存	備考
13	(6.13)	1.70	0.49	(12.30)	Ba IV	褐灰	70	

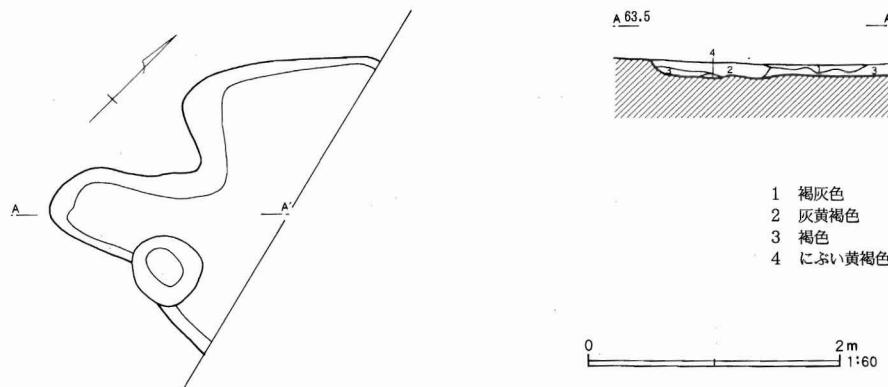


第149図 第13号性格不明遺構出土遺物

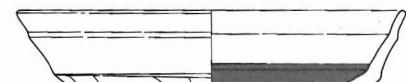
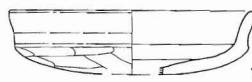
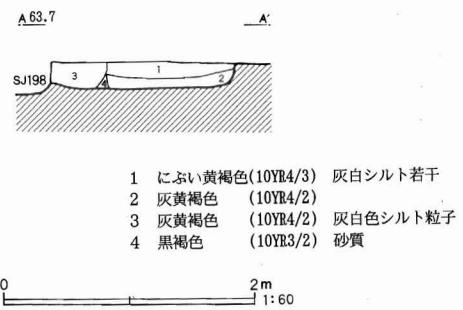
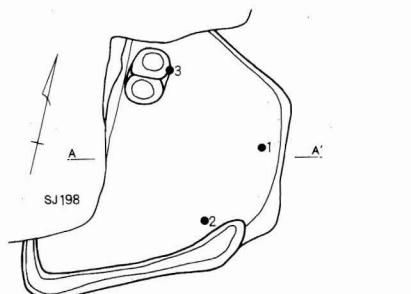
第18号性格不明遺構 (第150図)

J-19グリッドに位置する。東部は確認することができなかった。平面は、不整形で、深さ7cmを測る。

遺物は、土師器片が出土した。



第150図 第18号性格不明遺構



0 10 cm 1:4

第151図 第19号性格不明遺構・出土遺物

第19号性格不明遺構出土遺物観察表 (第151図)

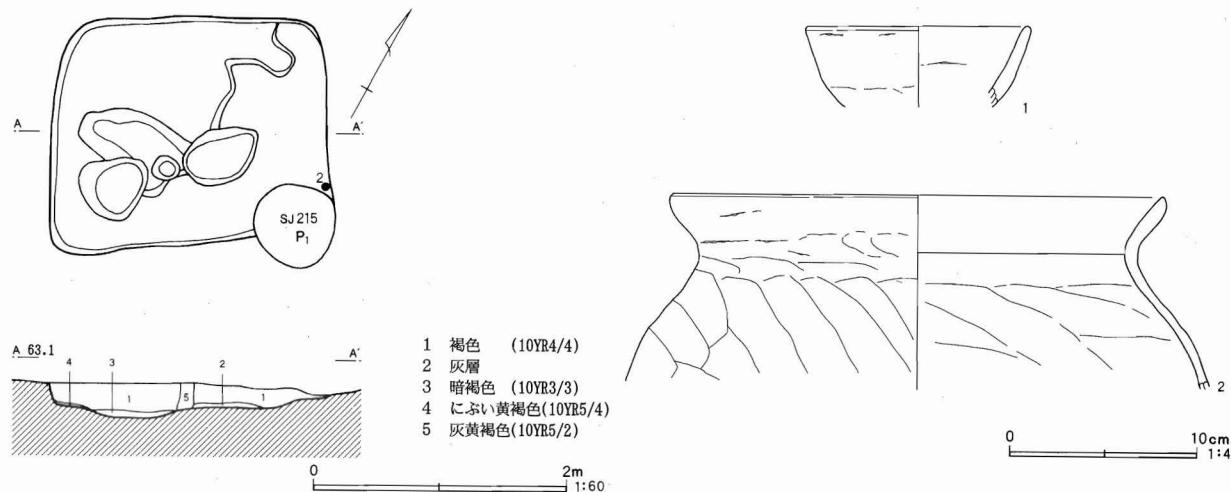
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	壺	(12.8)	3.4		B J	普通	橙	25	覆土	器壁摩耗
2	壺	(13.7)	4.3		B	普通	にぶい褐	50	覆土	底部外面へラ削り
3	壺	(20.4)	6.2		E	普通	にぶい橙	80	覆土	口縁部横ナデ 底部内面油煙付着

第20号性格不明遺構（第152図）

K-17グリッドに位置する。第215号住居跡に切られる。平面は2.16m×1.78mの形で、深さ21~28

cmを測る。主軸方位は、N-61°-Eを指す。

遺物は、土師器壊・壺が出土した。



第152図 第20号性格不明遺構・出土遺物

第20号性格不明遺構出土遺物観察表（第152図）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	壺	(12.0)			B J L	不良	にぶい赤褐	10	覆土	内外面摩耗著しい
2	甕	(26.0)			A B D J L	不良	橙	30	覆土	外面↑方向へラ削り

(6) ピット

今回、C区でピットは多数あるが、図示できる遺物を出土したピットは5基である。

J-15G. P 1 (第153図)

第7住居跡の北に位置する。平面は、径49cm×42cmのほぼ円形で、深さ17センチを測る。

遺物は、土錐2点が出土した。

I-16G. P 6 (第153図)

第157号住居跡の北、第156・196号住居跡の西に位置する。平面は、軸長48cm×36cmの楕円形で、深さ39cmを測る。主軸方位は、N-23°-Wを指す。

遺物は、土師器甕が出土した。

I-16G. P 10 (第153図)

P 6の北、第197号住居跡の西に位置する。平面は、径27cm×24cmの円形で、深さ20cmを測る。

遺物は、3の角柱状鉄製品で一方は欠損しており端部は尖っている。欠損部分の断面は三角形をしている。重さは、46.93gを測る。

I-19G. P 3 (第153図)

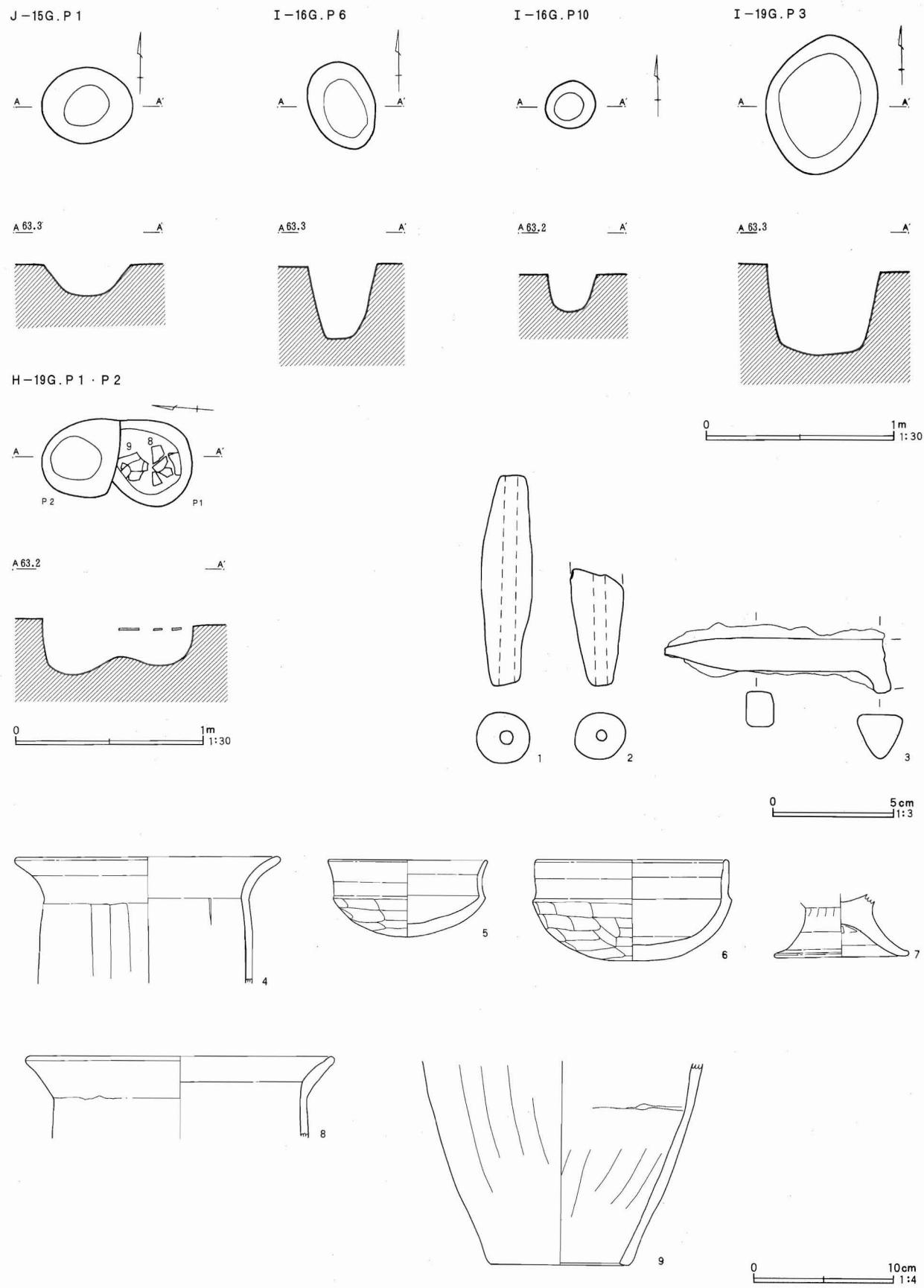
第187号住居跡の東に位置する。軸長75cm×59cmの楕円形で、深さ45cmを測る。主軸方位は、N-12°-Eを指す。

遺物は、土師器壊・高壺が出土した。

H-19G. P 1 (第153図)

第186号住居跡の北東に位置する。平面は、P 2に北側が切られており、径44cm×40cmの円形で、深さ21cmを測る。

遺物は、甕・壺が出土した。



第153図 ピット・出土遺物

J-15G. P1 出土土錐観察表 (第153図)

番号	長さ	径	孔径	重さ	分類	色調	残存	備考
1	7.46	1.89	0.48	24.16	Ba II	黒褐	100	
2	(4.27)	(1.94)	0.40	(10.65)	Ba	にぶい黄橙		

ピット出土遺物観察表 (第153図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
4	甕	(18.5)			HJK	普通	橙	20	I-16G, P6	胴部外面↓へラ削り 内面工具横ナデ
5	壺	11.2	5.5		B E J	普通	橙	80	I-19G, P3	底部外面←へラ削り
6	壺	13.4	7.2		B E J	普通	橙	100	I-19G, P3	口縁部横ナデ 底部外面←へラ削り
7	高壺	(21.5)		9.4	B	普通	橙	90	I-19G, P3	脚部内面横ナデ
8	甕				ABE	不良	橙	15	H-19G, P1	No.1 器壁摩耗
9	甕			(9.7)	E	普通	橙	25	H-19G, P1	No.2 器壁摩耗

(7) グリッド出土・表採遺物 (第154図)

土師器が遺構外の主にL-15グリッドに、土錐が
L-15グリッド及びその他のグリッドと表採遺物
として出土した。

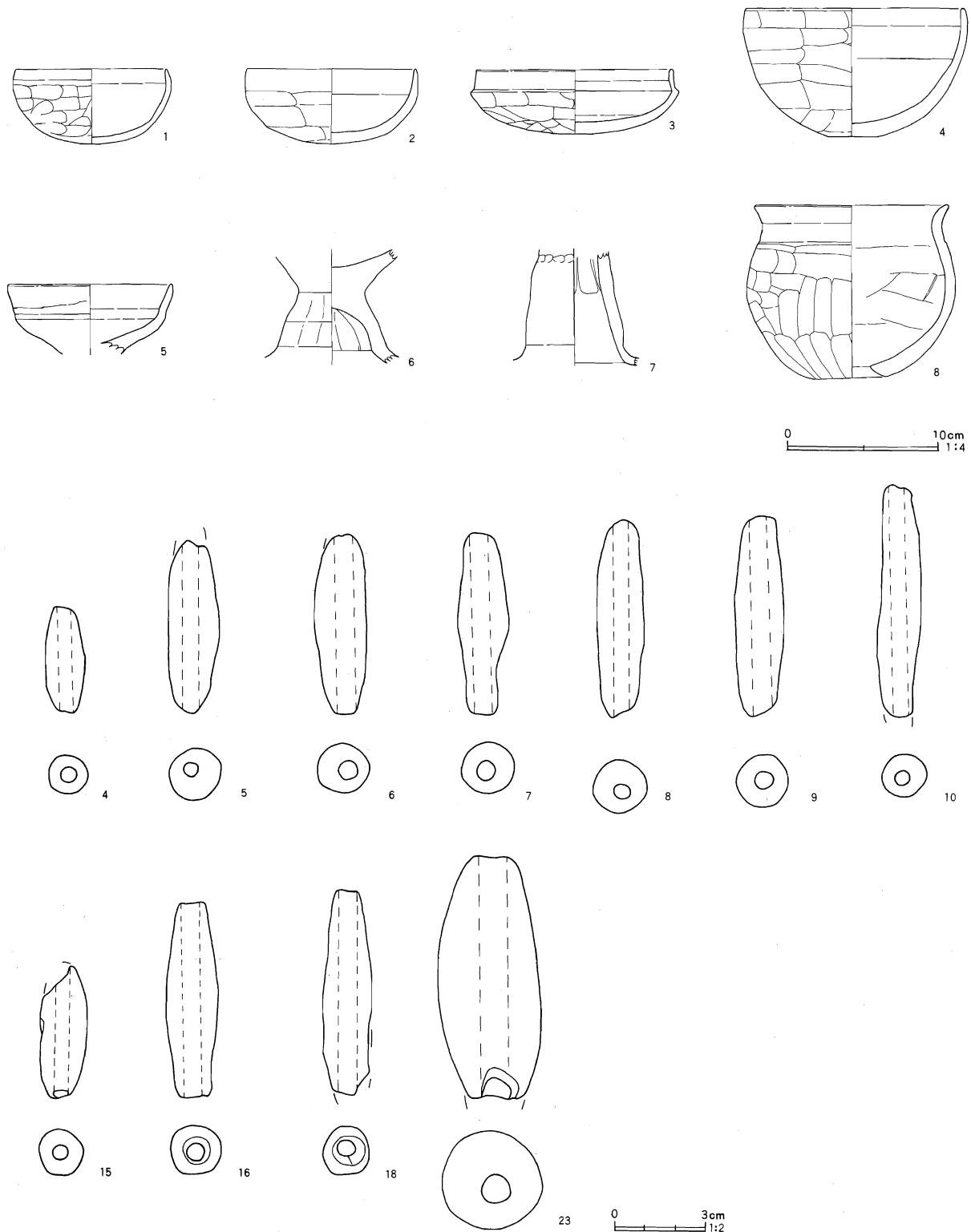
グリッド出土遺物観察表 (第154図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	壺	10.0	5.0		BL	普通	橙	80	L-15G	外面←方向へラ削り
2	壺	(11.1)	5.0		B	普通	にぶい橙	70	L-15G	体部外面←へラ削り
3	壺	(12.4)	4.2		BD	良好	橙	30	L-15G	口縁内外面、体部内面外周クロクロナデ
4	壺	(14.4)	8.5	3.0	B F J	普通	橙	60	L-15G	体部外面へラナデ
5	高壺	(10.8)			B E F		橙	40	L-15G	摩耗により調整不明
6	高壺				B F	普通	橙	90	L-15G	器壁摩耗し調整不明
7	高壺				B	不良	橙	70	L-15G	外調整不明 内面上半指ナデ、下半横ナデ
8	甕	(12.7)	11.4	4.8	F	普通	にぶい橙	70	L-15G	肩部←、胴部↓へラ削り

グリッド出土土錐観察表 (第154図)

番号	長さ	径	孔径	重さ	分類	色調	残存	備考
1	(3.95)	1.51	0.54	(7.84)	Ba	灰褐	70	M-13G.
2	(4.39)	1.78	0.54	(11.33)	Ba	橙		M-13G.
3	(5.18)	1.96	0.50	(16.86)	Ba	明赤褐		M-13G.
4	(3.54)	1.38	0.48	(5.77)	Ba VI	橙	80	M-15G.
5	(5.72)	1.85	0.54	(17.53)	Ba	にぶい黄橙		M-15G.
6	5.85	1.81	0.66	(15.88)	Ba IV	にぶい黄橙	95	M-15G.
7	6.05	1.78	0.62	15.29	Bb IV	明赤褐	100	M-15G.
8	6.55	1.79	0.66	(17.75)	Ba III	にぶい黄橙	80	M-15G.
9	6.60	1.73	0.65	18.68	Ba III	暗赤灰	100	M-15G.
10	(7.63)	1.53	0.53	(12.99)	Ba	にぶい橙	90	M-15G.
11	(3.03)	1.66	0.67	(6.61)	B	にぶい褐		M-15G. P 3
12	(4.02)	(1.46)	0.60	(7.22)	Ba	明赤褐		M-15G.
13	(4.57)	2.06	0.63	(13.39)	B	にぶい褐		M-15G.
14	(5.92)	(2.88)	0.54	(35.91)	B	橙		M-16G.
15	(4.30)	1.50	0.45	(8.76)	Ba V	にぶい赤褐	80	L-15G.
16	6.34	1.68	0.61	(13.99)	Ba IV	黒褐	95	L-15G.
17	(4.38)	(2.85)	0.59	(19.96)	Ca	にぶい黄橙		L-15G.
18	(6.75)	1.69	0.57	(15.88)	Ba	にぶい黄橙	80	L-16G.
19	(2.69)	(1.31)	0.54	(3.49)	Ba	明赤褐		L-16G.
20	(3.75)	(1.52)	0.60	(8.06)	Ba	明赤褐		L-16G.

番号	長さ	径	孔 径	重 さ	分 類	色 調	残 存	備 考
21	(6.89)	1.88	0.75	(24.42)	Aa	にぶい橙		J-19G.
22	(6.29)	2.02	0.55	(23.49)	B	にぶい橙		表採
23	(7.76)	3.46	0.92	(76.58)	Ba	にぶい黄橙	80	表採



第154図 グリット出土遺物

報告書抄録

ふりがな	によいIII／かわばた							
書名	如意III／川端							
副書名	大里防災事業六堰頭首工建設工事関係埋蔵文化財発掘調査報告書							
卷次	II <第1分冊>							
シリーズ名	埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書							
シリーズ番号	第276集							
著者名	山本 暉 岩瀬 譲							
編集機関	財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団							
所在地	〒369-0108 埼玉県大里郡大里村船木台4-4-1 TEL 0493-39-3955							
発行年月日	西暦2002(平成14)年3月22日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所 在 地	コード	北 緯	東 経	調査期間	調査面積 (m ²)	調査原因	
よい 如意 遺跡	さいたまけんおおさとぐんかわもとまち 埼玉県大里郡川本町 おおあざはたけやまあざによい 大字畠山字如意 395他	11406	004	36° 7'43"	139°16'10"	19971001 ～ 20001130	4,500	六堰頭首 工建設
川端 遺跡	さいたまけんおおさとぐんかわもとまち 埼玉県大里郡川本町 おおあざはたけやまあざによい 大字畠山字如意 407他	11406	013	36° 7'46"	139°16'17"	20010401 ～ 20010531	962	六堰頭首 工建設
所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
如意 遺跡	集落跡	古墳時代後期 奈良・平安時代 中・近世	竪穴住居跡 掘立柱建物跡 土 坑 溝 跡 性格不明遺構 中・近世墓	159軒 12棟 100基 1条 6基	土師器・須恵器・土錘 白玉・石製模造品 古錢・独钴杵			
川端 遺跡	集落跡	縄文時代 古墳時代後期 近世	竪穴住居跡 土 坑 溝 跡	12軒 12基 1条	縄文土器・土師器 須恵器・土錘 石製紡錘車			

埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第276集

大里郡川本町

如意Ⅲ／川端

大里農地防災事業六堰頭首工建設工事関係
埋蔵文化財発掘調査報告

— II —

〈第1分冊〉

平成14年3月12日 印刷

平成14年3月22日 刊行

発行／財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団
〒369-0108 大里郡大里村船木台4-4-1
電話 0493 (39) 3955

印刷／朝日印刷工業株式会社